取扱説明書

ハードディスクデジタルレコーダー

EDR-0440M・EDR-0840M・EDR-1640M

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

製造番号は、品質管理上、重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

はじめに

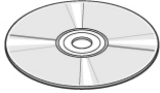
EDR-0440M/EDR-0840M/EDR-1640Mをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書および本書に記載されているソフトウェア、ハードウェアは著作権法により保護されます。
したがって、著作権法内で一般的な使用のためのコピーを除いて、株式会社エルモ社の許可なしに
本書の一部または全部のコピー、再印刷、他国語への翻訳などはできません。

仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更することがあります。

商品の保証について

この商品の保証期間はお買い上げ日から1年間であります。
但し、下記の場合は保証期間内であっても保証対象外になります。

. お客様の取扱上の不備により生じた不具合の場合
. お客様から商品に加工・交換などが行われた場合
. 定格電源以外の電源をお使いの場合
. 火災・地震・洪水・落雷などの天災により生じた不具合の場合
. 消耗品(ハードディスクなど)の交換の場合

消耗品について

交換の目安時期（周囲温度２５℃時）
●放熱ファン ・・・・・・・・３年
●バックアップバッテリー ・・・２年
●ハードディスク ・・・・・・２年

※上記部品の年数を目安に交換をお勧めいたします。
ただし交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。
使用環境によって誤差があります。

製品および付属品の構成

次の部品が入っているかをご確認ください。

品目	
DVR本体	
クライアントCD	
マウス	
リモコン	
リモコン用の電池1.5V（単4型 x 2個）	
取扱説明書(本書)	
電源コード ・ ACアダプタ(DC 12V 5A)	

仕様

項目			仕様		
			EDR-0440M(4ch)	EDR-0840M(8ch)	EDR-1640M(16ch)
映像	入力	ch入力レベル	4ch コンポジット 1.0Vp-p 75オーム	8ch コンポジット 1.0Vp-p 75オーム	16ch コンポジット 1.0Vp-p 75オーム
	出力		1VGA・1CVBSメイン画面同時出力＋1イベントスポット画面		
音声	入出力		4ライン入力・1ライン出力		
	圧縮方式		G.711		
インタフェース	メニュー表示		グラフィックユーザーインタフェース(GUI)		
	入力方法		マウス/リモコン/前面パネルのボタン		
ライブ画面表示	Video Lossチェック		対応		
	画面自動切換え		3 ～ 60秒		
録画	圧縮方式		H.264		
	解像度	CIF（352x240）	120fps	240fps	480fps
		Half D1（704x240）	120fps	240fps	240fps
		D1（704x480）	120fps	120fps	120fps
	録画画質グレード		5段階で選択可能		
	録画モード		常時/モーション/センサー/スケジュール/手動		
	モーション検知		全画面/選択領域		
	イベント前録画		15秒 ～ 20分		
	イベント後録画		10 ～ 30秒/60秒		
再生	速度	1画面	～64倍速		
		マルチ画面	～32倍速	～16倍速	～8倍速
	記録映像検索モード		タイムライン/イベント/キャプチャーリスト/ログ/日時指定		
バックアップ	ファイル形式		JPEG/AVI/H264(独自の動画フォーマット)		
	保存メディア		USBメモリー/ DVD-R/外付けHDD/ネットワーク		
	再生アプリケーション		汎用動画再生ソフト(AVI)・独自の動画再生ソフト(H264)		
保存装置	ハードディスク	インタフェース	SATA		
		容量	500GB	1TB	
		搭載数	1台		
	S.M.A.R.T.		HDDエラーのチェックおよび報告		
アラーム	センサー入力		4入力（NC/NO選択可能）		
	アラーム出力		1出力（センサー、モーション、Video Loss時）		
シリアルポート	RS-232C		コンソール対応		
	RS-485		PTZカメラ対応		
ネットワーク	デュアルストリーム		CIF 60fps	CIF 120fps	CIF 240fps

遠隔接続	PCクライアント	ライブ監視/データ検索・再生/バックアップ/PTZカメラコントロール
	Webビューア	ライブ監視/データ検索・再生/バックアップ/PTZカメラコントロール
	3Gモバイル監視	iPhone、Android対応
その他	サマータイム	対応
	ブザー音	Video Loss/HDDエラー
	多言語	対応
	ソフトウェアアップグレード方法	USBメモリー/ネットワーク経由の遠隔アップグレード
	NTP（ネットワークタイムプロトコル）	対応
	遠隔設定	対応
一般仕様	動作温度	5～40℃
	電源入力	DC 12V 5A
	ユニット質量(梱包時の質量)	4.1Kgs(6.2Kgs)
	寸法(WxDxH)	380mm x 340mm x 72mm

※　仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

ハードディスク(HDD)について

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。
機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

□本機は横置き型です。絶対に縦置きはしない

□通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない。
ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

□録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

□電源を切ってから約30秒間は動かさない
電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。
この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

□衝撃や振動を与えない
本機を床などには置かないでください。
やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

□搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること
本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。
また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●ハードディスクは静電気に弱いため、必ず静電対策をおこなってください。
●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。
ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください。
交換後はしっかりとネジを締め付けてください。

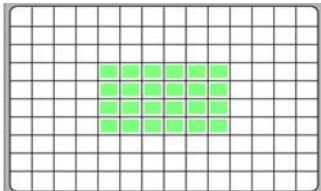
本機の特長

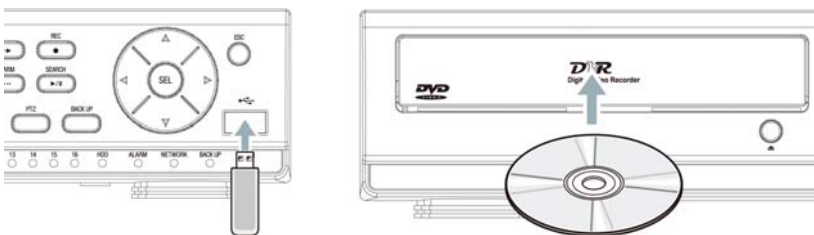
- H.264圧縮方式採用
- 安定したファイルシステム
- イベント発生時のスポット出力
- 高解像度のVGA出力(1280x1024)
- 4チャンネルまでの音声記録可能

- 各チャンネルごとに個別設定可能

	解像度	録画フレーム	画質	録画モード	イベント前記録	イベント後記録
ALL	D1	7	最高画質	常時録画	ON (10秒)	10
1	D1	7	高画質	常時録画	ON (10秒)	10
2	D1	7	高画質	常時録画	ON (10秒)	10
3	D1	7	高画質	常時録画	ON (10秒)	10
4	D1	7	高画質	常時録画	ON (10秒)	10

OK Cancel

- モーション検知機能(検出エリア指定可能)

- 映像信号の消失(VIDEO LOSS)検知機能
- セキュリティーのためのライブ映像非表示機能
- PTZカメラコントロール可能
- 簡単で分かりやすい操作画面
- 録画スケジューラー対応

- データをUSBメモリーやDVD-Rへ簡単にバックアップ可能

- AVI動画形式でバックアップ可能
- 独自の動画形式でバックアップ可能
- ネットワーククライアント(UMS)・Web Viewer・モバイルViewer(iUMS)など、さまざまな方法で遠隔監視・操作可能

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	意味
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグを
コンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。 すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、
煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを
コンセントから抜け

■電源コードを傷つけない
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
  また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
  電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。

禁止

■電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない
- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、
  特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

禁止

■電源コード接続時の注意
- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。 不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、
  火災の原因となります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。 発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの
  定格電力をこえないよう注意してください。こえると発熱により、火災の原因となります。

禁止

■分解したり、改造しない
内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

分解禁止

警告

■内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。
火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。 風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。 特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。 感電の原因になります。

■不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

■爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。
引火、爆発の原因となります。

■電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

■搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。 また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

■お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。
接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■通風孔や放熱ファンをふさがない

●本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
●上下間は1cm以上の隙間を開ける
●左右は5cm以上を開ける
●ラック後面と壁面間は10cm以上開ける

■急激な温度・湿度変化の場所に置かない

●急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。 次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
●直射日光が当たる場所
●水にぬれやすい場所
●冷暖房器具や加湿器に近い場所
●エアコンなどの冷風が直接当たる場所
●ほこりやちりの多い場所
●火気のある場所
●磁気を持っているものに近い場所
●揮発性物質のある場所
●常に振動のある場所や車や列車など

■露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。
これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。
結露状態では動作させない
結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。
急激な温度変化があった場合は、電源を切り、設置場所の温度が安定（約2時間）するまで待ってから動作させてください。

露つきが起りそうなときは・・・

本機の電源を切って、1～2時間放置してからご使用ください。

付属のACアダプターについて

⚠ 危険

■**分解したり、改造しない**

●内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
●直流電源器として使用しないでください。

■**電源電圧100V以外の電圧で使用しない**

火災、感電の原因となります。

■**ぬらさない**

水場での使用禁止

●水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
●風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
●万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■**付属のACアダプター以外は使用しない**

付属のACアダプターをご使用ください。 他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■**他の機器に接続しない**

付属のACアダプターは本機専用です。 火災、感電の原因となりますので他の機器には接続しないでください。

■**本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない**

誤ってACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■**国外では使用しない**

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

■**ぬれた手でACアダプターをさわらない**

感電の原因となります。

■**煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く**

●異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
●異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。 お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■**雷が鳴り出したら使わない**

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。 感電の原因となります。

■**ACアダプターとコンセントの注意**

●コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
●ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
●ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本機のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
●ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。 特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
●コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。

警告

■アース線を接続する
電源コードのアース線は、必ず接地端子に接続してください。

注意

■コード類は正しく接続する
ACアダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■コードを傷つけない
ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■使用場所の注意
発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

警告

付属の電源コード／ACアダプターは本機専用です。
他の機器には使用しないでください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■バックアップバッテリーについて

●本機には、時計機能のバックアップ用にリチウムバッテリーが内蔵されています。
停電などで電源が切れた場合は、バッテリーによって時計が動作します。

●バッテリーの寿命は約2年です。 バッテリーが切れたり液漏れなどが発生すると、電源が切れたときに設定時刻が
リセットされます。 電源を入れたとき（あるいはリブート時）に、モニター画面にバッテリー交換の警告メッセージが
表示されますので、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。

バッテリーの液漏れ処置について

万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗ってから、医師にご相談ください。
本機を処分される場合はリチウムバッテリーの処理方法もお買い上げの販売店にご相談ください。

■リモコン用の電池について

長時間使用しないときは、取り出してください。
充電式電池(Ni-Cd)は使用しないでください。
新旧、異種の電池を混用しないでください。
充電したりショートしないでください。

■長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。 ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて
作動させてください。

■録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、**必ず事前に録画を行ない、
正常に再生されることを確認してください。**録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■本機のお手入れ

**電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。
そして、仕上げは乾いた布でふいてください。**

ご注意

●お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

●本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■著作権について

●本書は株式会社エルモ社の著作物です。

●Microsoft、Windows、Internet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標
もしくは商標です。

●IntelならびにPentiumは、Intel Corporationとその系列会社の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。

●本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。
個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

目次

1. 各部の機能と接続

1.1. 前面パネル

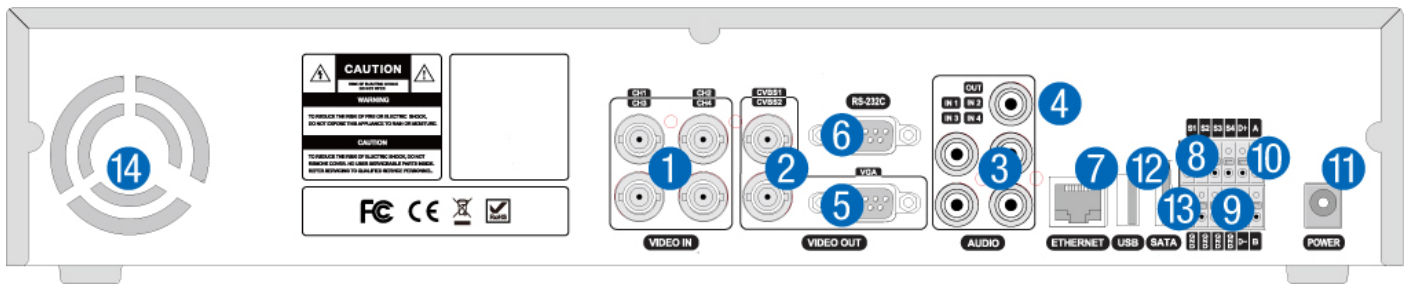
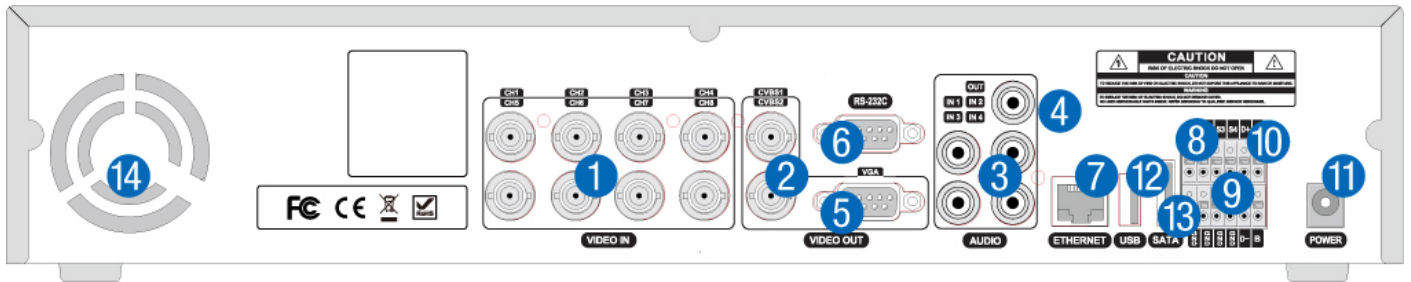
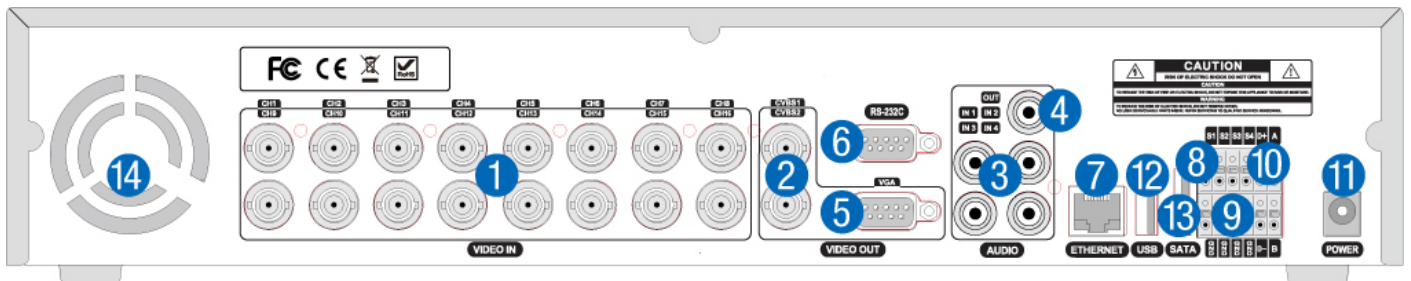
LEDランプの説明

NO.	名前	説明
A	CH1～16	録画中のチャンネルが点灯します。
B	HDD	ハードディスクへのアクセス中に点灯します。
C	ALARM	センサー入力やモーション検知時に点灯します。
D	NETWORK	ネットワーク接続中に点灯します。
E	BACKUP	USBメモリーかDVD-Rへのバックアップ中に点灯します。
F	POWER	電源が入っていると点灯します。

ボタンの説明

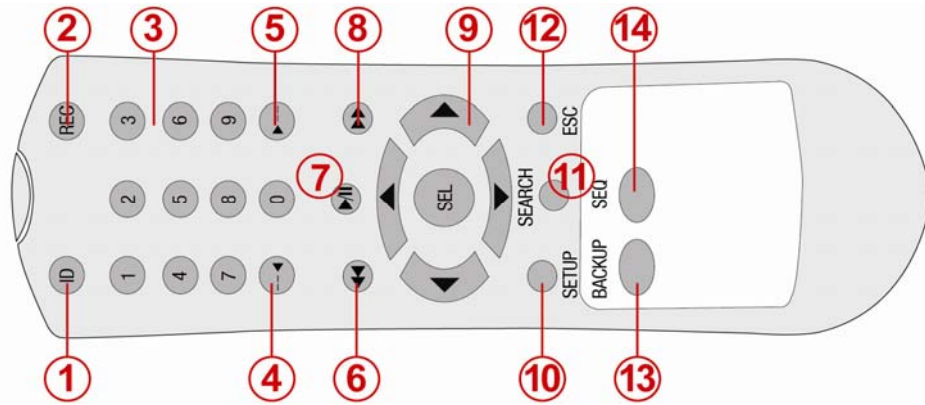
NO	ボタン	説明
1		チャンネル選択ボタン。選択チャンネルの映像は1画面で表示します。10番チャンネルは0、11番チャンネルは+10と1を押します。
2		再生時、早戻しします。
3	AUDIO	音声モードを選択します。押すごとに1チャンネル音声、4チャンネル音声、音声切に切換わります。
4	AUDIO	再生時、1分前の映像にジャンプします。
5		再生時、早送りします。
6	ALARM	アラーム機能を入/切に設定します。
7	ALARM	再生時、1分先の映像にジャンプします。

8	REC ●	手動録画を開始/中止します。
9	SEARCH ▶/II	検索モードに入ります。
10	SEARCH ▶/II	再生時、映像を静止/再生します。
11	SETUP	設定メニューに入ります。
12	SEQ	画面自動切換を入/切にします。
13	PTZ	PTZカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスなどを操作します。
14	BACK UP	ライブ映像や再生映像を静止画で保存します。
15	◀	カーソルを左に動かしたり、設定値を変更します。
16	▲	カーソルを上に動かします。
17	▶	カーソルを右に動かしたり、設定値を変更します。
18	▼	カーソルを下に動かします。
19	SEL	選択した項目を確定します。
20	ESC	前画面に戻ります。
21		保存映像をバックアップするか、ファームウェアをアップグレードする場合に、USBメモリー、または外付けHDDを接続します。
22	⏏	DVDドライブのトレイを開閉します。
23	DVDドライブ	保存映像をバックアップするDVD-Rを装着します。

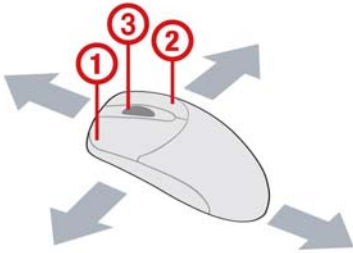
1.2.　後面パネル

EDR-0440M

EDR-0840M

EDR-1640M

NO	名前	説明
1	VIDEO IN	映像入力端子です。
2	CVBS1、2	CVBS1はメイン画面、CVBS2はスポット画面の出力端子です。
3	AUDIO IN	音声入力端子です。
4	AUDIO OUT	音声出力端子です。
5	VGA	メイン画面出力端子です。
6	RS-232C	サービス専用です。
7	ETHERNET	ネットワークRJ-45ジャックの端子です。
8	S1～S4	センサー入力端子です。
9	D+、D-	RS-485端子です。
10	A、B	外部アラーム出力端子です。
11	POWER	DC12V入力端子です。
12	USB	USB端子です。
13	SATA	使用できません。
14	ファン	放熱用のファンです。

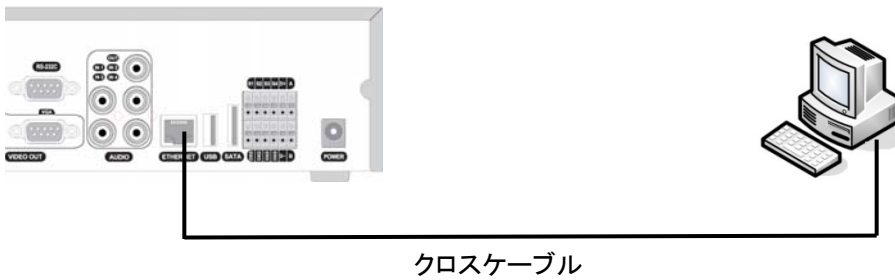
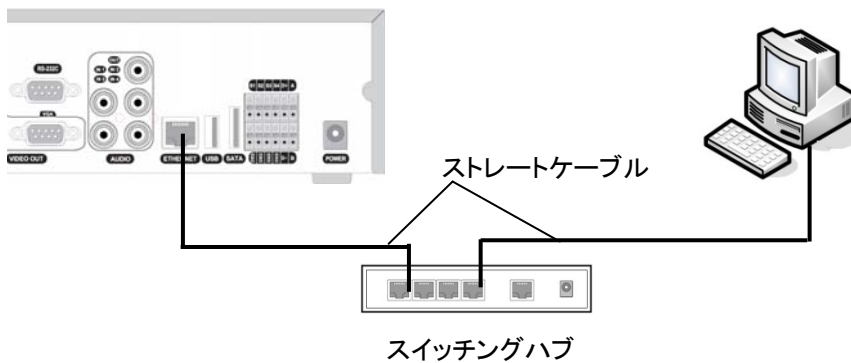
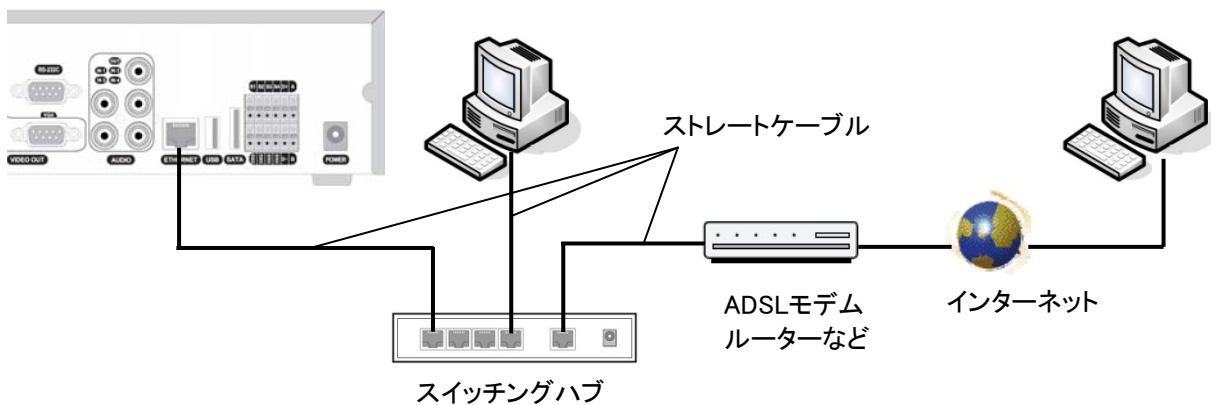
※注意　:CVBS1をメイン画面出力として使用する場合、接続するテレビモニターによっては、
本機のOSD表示が画面に収まらず、表示できないことがあります。
このような時はアンダースキャン機能のあるテレビモニターをご使用ください。

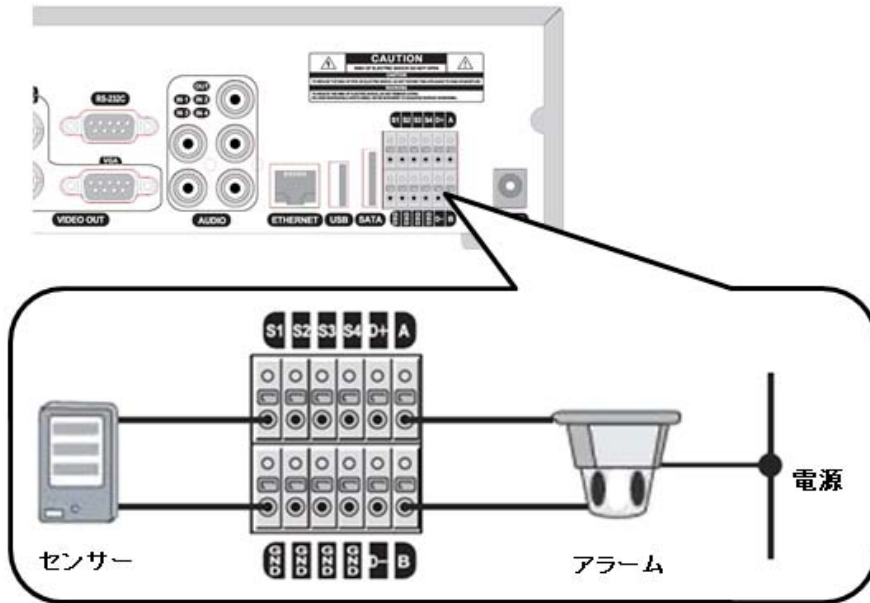
1.3. リモコン

NO	ボタン	説明
1	ID	リモコンIDが設定されているDVRを操作する時、リモコンのIDを入力します。(IDボタン+数字ボタン)
2	REC	手動録画を開始/中止します。
3	数字	1画面に表示するCHを選択します。
4	--◂	再生画面で、1分前のデータにジャンプして再生します。再生が一時停止の状態では、1秒前の画像を表示します。
5	▸--	再生画面で、1分先のデータにジャンプして再生します。再生が一時停止の状態では、1秒先の画像を表示します。
6	◂◂	再生画面で、データを巻き戻しします。押すごとに再生速度が切換ります。
7	▸/II	再生画面で、データを再生/一時停止します。
8	▸▸	再生画面で、データを早送りします。押すごとに再生速度が切換ります。
9	方向ボタン	メニューで、カーソルを移動します。SELボタンで下位メニューを表示します。
10	SETUP	設定メニューを表示します。
11	SEARCH	検索メニューを表示します。
12	ESC	前画面に戻ります。
13	BACKUP	ライブや再生画面をバックアップします。
14	SEQ	画面自動切換えを行います。

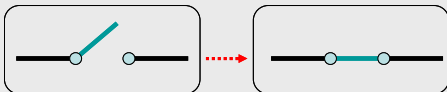
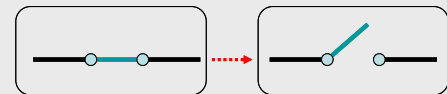
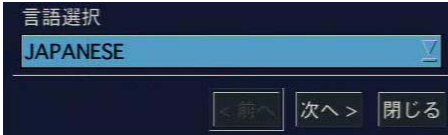
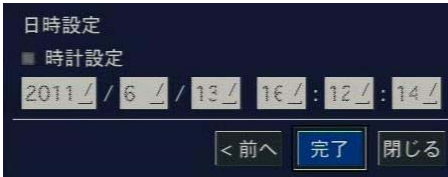
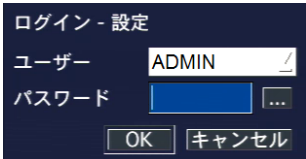
※注意 ：・太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。 その場合は受信側の設置場所を変更するか、太陽光などを遮ってください。
・電池は、リモコンの裏側にある[▼]マークを矢印の方向へ押し、電池ケースカバーを外して単4電池2個を入れてください。
・極性(+/−の向き)には十分注意してください。
・電池は必ず単4電池を使用してください。
・年に一度は電池交換をしてください。
・付属品の電池は最初の動作確認用のものです。有効使用期間は保証しておりません。

1.4.　マウス

① 左ボタン：　SELECTボタン
② 右ボタン：　ライブ映像表示部からポップアップメニューを表示
③ ホイル：　ドロップダウンメニューの設定値を変更

1.5.　ネットワーク接続

LAN接続 － DVRとパソコンを直接接続する場合

LAN接続 － スイッチングハブを使用する場合

インターネット(ADSL)接続

1.6. センサーおよびアラームの接続

背面のセンサー入力･アラーム出力端子に、下図のようにセンサーやアラームデバイスを接続します。

––– ： 反応しません。

N/O ：Normally open type sensor. 通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。

N/C ：Normally closed type sensor. 通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。

アラーム出力の使用可能仕様は最大電流AC 0.5A 12.5V、最大電圧DC 1A 30Vです。

2. 設定のしかた

2.1. 設定メニューの基本操作

2.1.1. 使用者モードに入る前に

① DVRの後面の映像入力端子にカメラを接続し、DC12V入力端子にACアダプタを接続します。

② ACアダプタに電源コードを接続し、はじめに必ず電源コードのアース線を接地端子に接続します。
その後、電源コードをコンセントに差し込みます。

③ 通電すると、前面パネルのPOWERランプが点灯し、システムの初期化が開始されます。初期化が完了してDVRが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。「JAPANESE」を選択し、「次へ >」をクリックします。

④ 現在時刻を確認します。現在時刻を変更したい場合は、「時刻設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。現在時刻が年/月/日/時/分/秒で設定できるようになります。時刻の設定が完了すると、「完了」をクリックします。

⑤ 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できる状態になります。

⑥ DVRの電源を切る場合には、ライブ画面下端のタスクバーから「システム終了」アイコンをクリック（45ページ）、または、ポップアップメニューの「システム終了」を選択（47ページ）します。
「システム終了ログイン」画面が表示されますので、ユーザー「ADMIN」でログイン操作をします。
（「2.1.2設定画面に入るには」の②および③の操作を参照してください。）
「しばらくお待ちください」の表示の後、「電源を落とし、システムを終了してください」と表示されます。
この状態になったのを確認してから、電源コードをコンセントから抜きます。
電源コードのアース線は、必ず最後に接地端子から外してください。

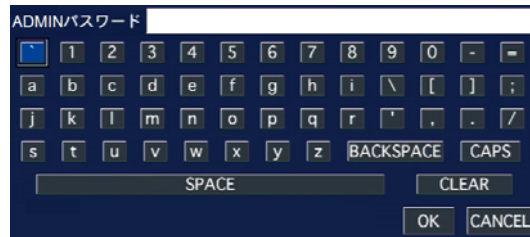
注意：DVRは停電などで突然電源が切れてもよいように作られていますが、通常は必ず上記⑥の手順に従って電源を切ってください。
手順に従わずに電源を切ると、内蔵しているHDDの信頼性に悪影響を与え、HDDの寿命を縮める原因になります。

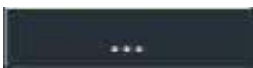
2.1.2. 設定画面に入るには

① 設定画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「SETUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。

② ログイン画面が表示されると、ユーザータイプを選択します。設定メニューに入る時にログインが必要か否かについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

③ ボタンをクリックすると文字表が表示されます。選択したユーザータイプに合うパスワードを入力してください。各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティー」メニューで設定できます。パスワードを入力し、「OK」をクリックすると、設定画面が表示されます。

※ 工場出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

2.1.3. 設定メニューを操作するには

● マウスの操作 ：

左ボタンをクリックする	カーソルが位置している項目を選択します。
右ボタンをクリックする	(一部のメニューで)前画面に戻ります。 ライブモードではポップアップメニューを表示します。

● 前面パネルのボタン・リモコンの操作 ：

▼ボタンを押す	1つ次の設定項目に移動します。
▲ボタンを押す	1つ前の設定項目に移動します。
◂▸ボタンを押す	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタンを押す	ボタンを選択します。
「ESC」ボタンを押す	前画面に戻ります。

● 項目の設定 ：

	「SEL」ボタンやマウスクリックで選択すると、ドロップダウンで選択肢が表示されます。
	コントロールボタン(◂▸)やマウスのドラック&ドロップで、設定値が変更できます。
...	選択すると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

2.1.4. 設定を保存するには

① 設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」ボタンを押すと、右のような設定保存の画面が表示されます。

② 「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。

③ 「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。

※ 設定完了後、設定メニュー画面の右下の「Cancel」ボタンを押すと、変更した設定内容が無効化されます。

2.1.5. 設定メニューの構成

画面表示

- OSD表示
- OSD表示コントラスト
- 画面自動切換え
- 画面自動切換え周期
- チャンネル
  - ネーム
  - 映像非表示
  - 輝度
  - コントラスト
  - 色合い
  - 彩度
- 映像出力 (VGA)

録画

- チャンネル
  - 解像度
  - 録画フレーム
  - 画質
  - 録画モード
  - センサー録画
  - イベント前記録
  - イベント後記録
  - 音声
  - スケジュール

デバイス

- アラーム出力
- コントローラー&PTZ
- チャンネル
  - モーション領域
  - モーション感度
- ボタン音
- リモコンID
- センサー
  - タイプ

録画装置

- 上書き
- HDDフォーマット
- HDD情報
- 記録保存日数制限
  - 記録保存日数
- HDD温度感知設定

システム

- DVR ID
- システム情報
- 言語
- 日付の形式
- 日時設定
- クライアントアクセス
- NTP
- メール送信

セキュリティー

- 使用者権限
- 使用者パスワード
- データ検索権限

ネットワーク

- ポート番号
- ネットワークオーディオポート
- WEBポート
- ネットワークタイプ
  - IPアドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイ
  - DNS(第1)
  - DNS(第2)
- DDNS
- ネットワークストリーム

設定管理

- USBへ設定保存
- USBから設定読込
- 使用者設定を戻す
- 工場出荷時に戻す
- ソフトウェアアップグレード

簡単設定

- 簡単設定を適用
  - 録画日数
- 使用者設定
  - 解像度
  - 録画フレーム
  - 画質
  - 予想録画日数

2.2. 画面表示

ライブ画面の表示に関する設定を行います。

画面表示メニューの項目

項目	説明
OSD表示	画面情報を表示するかどうかを設定します。(選択肢:ON/OFF) OFFを選択すると、チャンネル名やタスクバーなどの画面情報が表示されません。
OSD表示コントラスト	画面に表示されるウィンドウや文字のコントラストを調整します。 (設定範囲:50～100%)
画面自動切換	画面自動切換えを設定します。(選択肢:ON/OFF)
画面自動切換周期	画面自動切換えの周期を設定します。(設定範囲:3～60秒)
チャンネル	表示設定を変更したいチャンネルを選択します。(選択肢:CH1～チャンネル数) ... ボタンを押すと、全CH設定画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。

	映像非表示	輝度	コントラスト	色合い	彩度
ALL	OFF	50	40	50	50
1	OFF	50	40	50	50
2	OFF	50	40	50	50
3	OFF	50	40	50	50
4	OFF	50	40	50	50

OK キャンセル

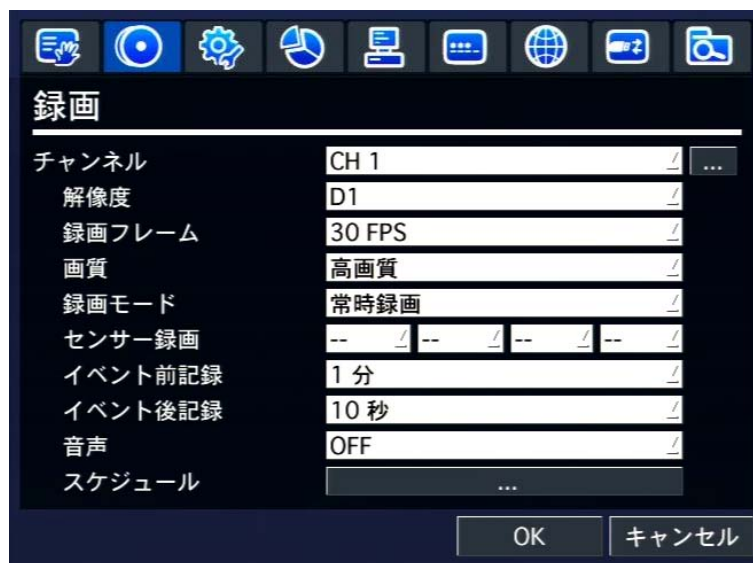
コントロールボタン(▲▼◂▸)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。コントロールボタン(◂▸)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。

「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。

項目	説明
ネーム	チャンネル名を設定します。 ... ボタンを押すと、「チャンネルを変更すると、録画が1秒間一時中止されます。チャンネル名を変更しますか?」の警告メッセージが出ます。「OK」ボタンをクリックすると文字入力表が表示され、変更したいチャンネル名を入力できます。

映像非表示	ライブ映像を非表示とします。(選択肢:ON/OFF)
輝度	映像の明るさを調節します。(設定範囲:0～100)
コントラスト	画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲:0～100)
色合い	画像の色合いを調節します。(設定範囲:0～100)
彩度	画像の彩度を調節します。(設定範囲:0～100)
映像出力(VGA)	… ボタンを押すと表示される出力設定画面で、VGA端子から出力されるメイン画面の解像度を設定します。(選択肢:1024x768/1280x1024)

2.3. 録画設定

録画に関する設定を行います。

録画設定メニューの項目

項目	説明
チャンネル	下位項目(解像度、録画フレーム、画質、録画モード、センサー録画、イベント前記録、イベント後記録、音声、スケジュール)を設定するチャンネルを指定します。 … ボタンを押すと、「全CH設定-録画」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。

	解像度	録画フレーム	画質	録画モード	イベント前記録	イベント後記録	音声
ALL	D1	30	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
1	D1	30	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
2	D1	30	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
3	D1	30	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
4	D1	30	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF

OK　キャンセル

コントロールボタン(▲▼◂▸)で変更したい項目に移動し、「SEL」ボタンを押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。コントロールボタン(◂▸)で設定値を変更し、「SEL」ボタンか「ESC」ボタンを押すと設定値が保存されます。

	「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。
解像度	録画の解像度を設定します。(選択肢：D1/Half D1/CIF)
録画フレーム	録画のフレームレートを設定します。(設定範囲：1～30FPS) 設定可能な各chの録画レートの合計値は、解像度の設定によって次のように制限されます。 (下表参照) 合計値が制限を越えた場合は、他のチャンネルの記録レートは設定できません。
画質	録画画質を選択します。(選択肢：ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質)
録画モード	録画モードを選択します。(選択肢：常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/録画しない) ※ 各モードの詳しい説明は「2.3.1.録画モードの種類」をご参照ください。
センサー録画	各チャンネルに、4つのセンサーから1つのセンサーを設定することができます。
イベント前記録	モーション録画やセンサー録画設定の場合、イベント発生前のどれ位の間の映像を保存するかを選択します。(選択肢：OFF/15秒/30秒/1分/3分/20分)
イベント後記録	センサー検出後からの録画時間を指定します。(設定範囲：10～30秒/60秒)
音声	ライブ映像の音声を記録するかを設定します。(選択肢：ON/OFF)
スケジュール	1週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。 [...]ボタンを押すと、スケジュール画面が表示され、1週間単位の録画スケジュールが設定できます。 ※ 詳細は「2.3.2. スケジュール設定」をご参照ください。

	D1	Half D1	CIF
各chの総fps	120fps	240fps	480fps

2.3.1. 録画モードの種類

録画する条件を6つの録画モードから選択できます。

常時録画

：DVRの電源がONになっている間は常時録画を行います。

モーション録画

：DVR内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

センサー録画

：DVRの外部センサー入力端子(S1～S4)に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。

スケジュール録画

：録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

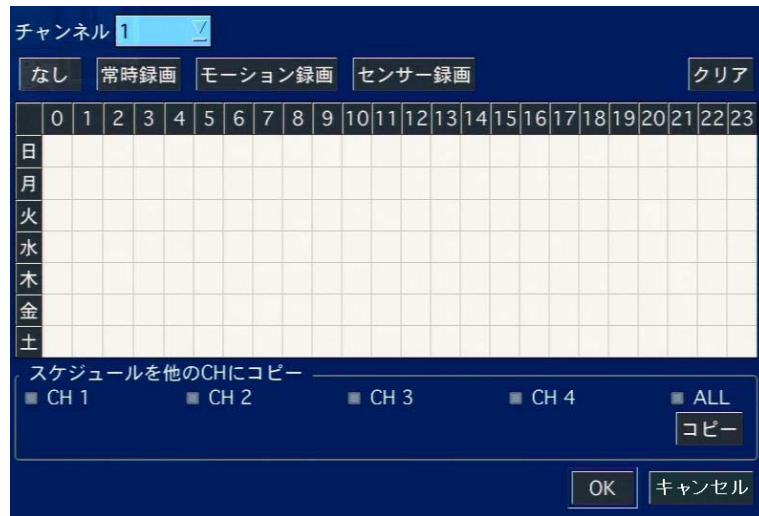
録画しない

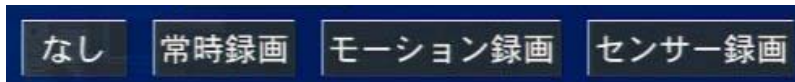
：録画を行いません。

手動録画

：DVRのフロントパネルかリモコンの「REC」ボタンを押すか、マウスでタスクバーやポップアップメニューから「手動録画」をクリックすると、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。手動録画モードを解除する時は、「REC」ボタンをもう一度押してください。

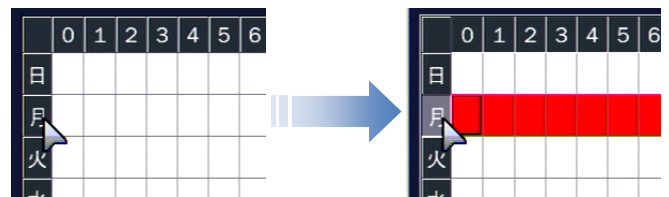
2.3.2. スケジュール設定

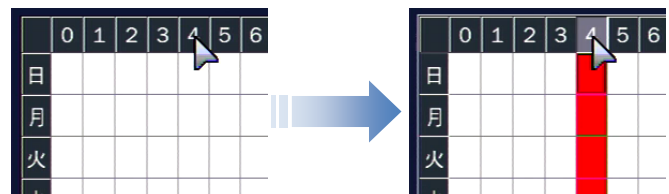
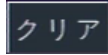
① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、「SEL」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。

② 「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。(選択肢:1～4)

③ 下のボタンから録画モードを選択します。

④ スケジュール表のマス目をクリック、あるいはドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

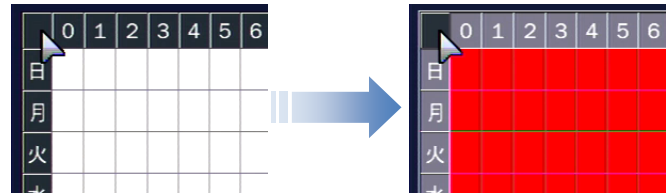
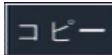
色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄色	モーション録画
白(色なし)	録画しない

- 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

  例)
  「月」をクリックすると、月曜日の24時間が選択した録画モードに設定されます。

- 毎日指定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

  例)
  「4」をクリックすると、毎日の04:00～05:00の間の時間が選択した録画モードに設定されます。

- 毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

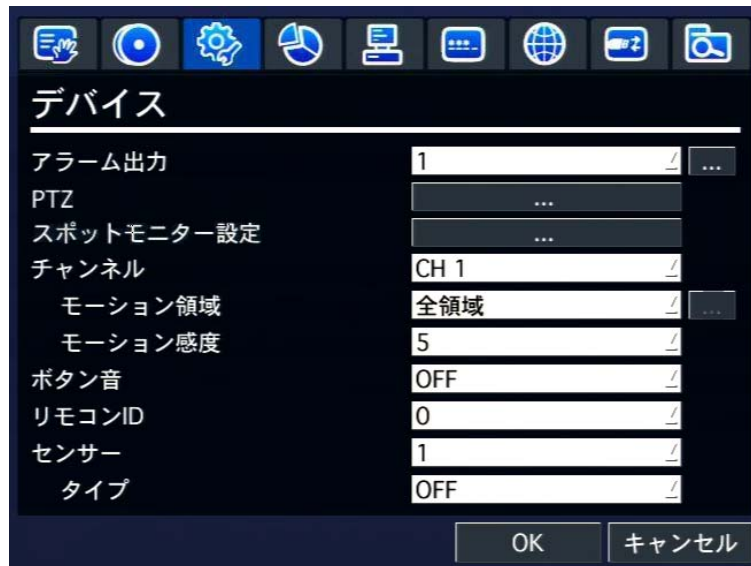
  例）

  をクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設定されます。

- クリアボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

⑤ 「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます。

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合
「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、コピーボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

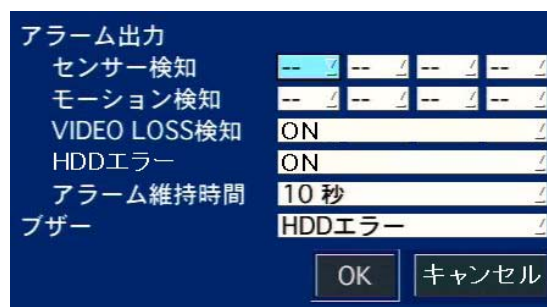
2.4. デバイス設定

センサーやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。

デバイスメニューの項目

項目	説明
アラーム出力	...ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSSなどによるアラーム出力を設定します。 ※ 詳細は「2.4.1. アラーム出力設定」をご参照ください。

PTZ	ボタンを押すと表示されるPTZ画面で、PTZカメラの接続設定を行います。 ※　詳細は「2.4.2. PTZ設定」をご参照ください。
スポットモニター設定	ボタンを押すと表示されるスポットモニター設定画面でCVBS2端子のスポット画面出力条件を設定します。 ※　詳細は「2.4.3. スポットモニター設定」をご参照ください。 ※　CVBS1端子からの画面出力はメイン画面と同じです。
チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。(選択肢:CH1～CH数)
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢:全領域/検出枠) 検出枠を選び、ボタンを押すと表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 ※　詳細は「2.4.4. モーション検出領域設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(選択肢:1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。(選択肢:ON/OFF)
リモコンID	リモコンのIDを設定します。(選択肢:0～99) ※　詳細は「2.4.6. リモコンIDの操作」をご参照ください。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択肢:1～4)
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。(選択肢:OFF/N/OPEN/N/CLOSE) ● N(Normal)/Open:通常はオープン状態で、クローズしたら反応する ● N(Normal)/Close:通常はクローズ状態で、オープンしたら反応する ● OFF:反応しない

2.4.1. アラーム出力設定

アラーム出力の条件を設定します。

アラーム出力メニューの項目

項目	説明
センサー検知	指定した外部センサー入力端子に入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのセンサー入力端子番号が設定できます。
モーション検知	指定した映像入力端子にモーション検知の入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのチャンネルが設定できます。
VIDEO LOSS検知	映像入力端子にVIDEO LOSSが発生するとアラーム信号を出力します。(選択肢:ON/OFF)

HDDエラー	HDDエラーが発生するとアラーム信号を出力します。(選択肢:ON/OFF)
アラーム持続時間	アラーム信号の出力時間を設定します。(選択肢:5～60秒)
ブザー	DVRの内蔵ブザーを鳴らす条件を設定します。(選択肢:OFF/ALL/HDDエラー/VIDEO LOSS)

2.4.2. PTZ設定

PTZ機能の操作のため、まずPTZカメラの接続と設定が必要です。

PTZカメラのRS-485ケーブルを後面パネルのRS-485ポートに接続します。

メモ ： RS-485対応のスピードドームカメラをRS-485端子に接続してください。もしカメラがRS-232Cからコントロールされている場合は、RS-485→RS-232Cシグナルコンバーターをご使用ください。

PTZメニューの設定

項目	説明
チャンネル	下位項目(ネーム、スピード、ID)を設定するチャンネルを指定します。
ネーム	接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。 ※エルモ社製カメラのPTC-400Cを使用する場合は、PTC-1000を選択してください。
スピード	通信速度を設定します。(選択肢:2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているカメラのIDを設定します。(選択肢:0～63)

※　詳しい操作方法はご使用のPTZカメラの取扱説明書をご参照ください。

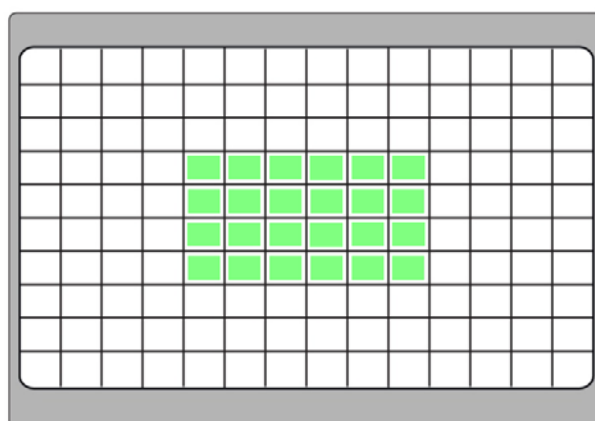
2.4.3. スポットモニター設定

CVBS2端子に接続するスポットモニターの出力条件を設定します。

スポットモニター設定メニューの項目

項目	説明
イベント時スポット出力	モーション検知やセンサー入力のイベント発生時、その画像をスポットモニターに出力するかを選択します。(選択肢： ON/OFF)
イベント画面表示時間	イベント時スポット出力がONに設定されている場合、イベント画像を表示する時間を設定します。(選択範囲： 3～10秒)
画面自動切換え	スポット表示するCHを複数選択した場合、選択CHの画面の自動切換えを行うかを選択します。(選択肢： ON/OFF)
画面自動切換え周期	スポットCHの画面自動切換えがONに設定されている場合、切換えの周期を設定します。(選択範囲： 3～10秒)
スポットCH	スポット画面を表示するCHを選択します。

2.4.4. モーション検出領域設定

① デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、 ボタンを押すとモーション検出枠の設定画面が表示されます。

検出枠設定画面

② コントロールボタン(▲▼◂▸)でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックするとモーション検出領域に設定されます。モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。

③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。

④ 設定が終了したら、「ESC」ボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

2.4.5. リモコンIDの操作

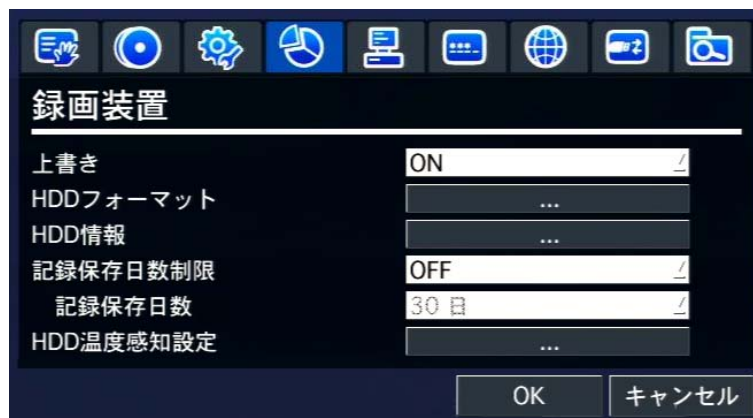
① デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。0に設定するとライブ画面の右下に のアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

② 「ESC」ボタン繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを0以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の のアイコンが消え、IDが設定されてないリモコンでは操作できなくなります。

③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。リモコンにIDが設定されます。

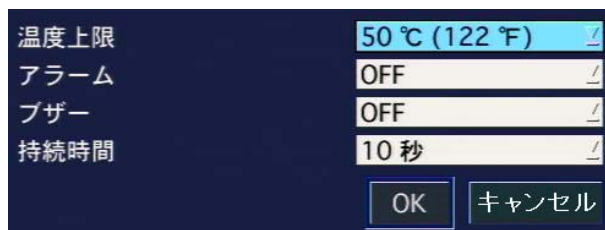
④ 本機とリモコンに設定したのIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

2.5. 録画装置設定

ハードディスクに関する設定を行います。

録画装置メニューの項目

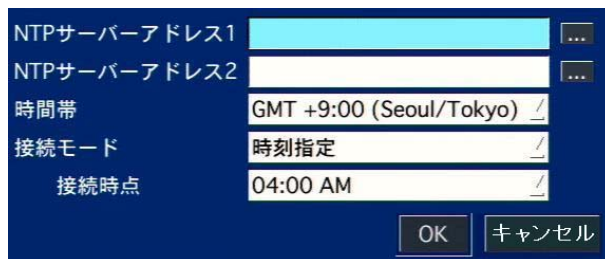
項目	説明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画をつづけるための設定です。(選択肢:ON/OFF) ※　上書きがONに設定されている場合、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。 ※　上書きがOFFに設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると録画を停止します。
HDDフォーマット	内蔵のハードディスクを初期化します。[...]ボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、DVRが再起動します。 ※　すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。
HDD情報	[...]ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量，記録開始日時と最終記録日時、温度や通電時間などが確認できます。
記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢:ON/OFF)
記録保存日数	「記録保存日数制限」設定がONの場合、録画記録を削除するまでの日数を設定します。(設定範囲:1～90日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。
HDD温度感知設定	[...]ボタンを押すと、表示されるHDD温度感知画面から、ハードディスクの温度が一定以上になった時、アラームや警告音を出力するように設定できます。 ※　詳細は「2.5.1. HDD温度感知設定」をご参照ください。

2.5.1. HDD温度感知設定

ハードディスクの温度が異常値になった時、アラームを出力させることができます。

HDD温度感知メニューの設定

項目	説明
温度上限	使用中のハードディスクの温度の上限値を設定します。(設定範囲:40～80℃) ※　現在使用中のハードディスクの温度は、「HDD情報」から確認できます。
アラーム	ハードディスクの温度が設定した上限より上がった場合、アラーム信号を出力するかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
ブザー	ハードディスクの温度が設定した上限より上がった場合、ブザーを鳴らすかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
持続時間	ハードディスクの温度が設定した上限より上がった場合、アラーム出力やブザーの持続時間を設定します。(設定範囲:10～60秒/無制限)

2.6. システム設定

DVRのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。

システムメニューの項目

項目	説明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。[...]ボタンを押し、文字表でDVR IDを入力します。
システム情報	[...]ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン、HDD容量、IPアドレス、MACアドレス、DDNSステータス、ポートフォワードステータスなどが確認できます。

言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 ● 適用例 ： 2000年12月25日の場合、 YYYY-MM-DD ： 2000-12-25　　MM-DD-YYYY ： 12-25-2000 DD-MM-YYYY ： 25-12-2000　　YYYY/MM/DD ： 2000/12/25 MM/DD/YYYY ： 12/25/2000　　DD/MM/YYYY ： 25/12/2000
日時設定	[...]ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。 ① まず、サマータイムを設定します。(選択肢：OFF/北米/欧州/その他) ● サマータイムを使用しない日本地域の場合は「OFF」に設定してください。 ② 「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。 ③ 年/月/日/時/分/秒を設定し、「OK」ボタンを押します。 ④ 変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。 ⑤ 設定の保存画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、変更した日時が適用されています。 ※ 従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生することがあります。詳細は「2.6.3. 時刻不一致が発生した場合は」をご参照ください。
クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部のPCからDVRへ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢：ON/OFF)
NTP	インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢：ON/OFF) ONを選択し、[...]ボタンを押すと、NTPの設定ができます。 ※ 詳細は「2.6.1. NTP設定」をご参照ください。
メール送信	DVRからメールを送信する機能です。(選択肢：ON/OFF) ONを選択し、[...]ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。 ※ 詳細は「2.6.2. メール送信設定」をご参照ください。

2.6.1. NTP設定

ネットワーク上のNTPサーバーに接続し、DVRの時計を標準時刻に同期することができます。

NTPメニューの設定

項目	説明
NTPサーバーアドレス1	同期をあわせるために接続するNTPサーバーを指定します。...ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
NTPサーバーアドレス2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。...ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲:GMT−12:00〜+13:00) 日本国内では、「GMT+9:00」を選択してください。
接続モード	NTP同期合わせを行う時点を選択します。(選択肢:周期指定/時刻指定/一回) 「周期指定」は、数時間ごとに1回、NTP同期合わせを行います。 「時刻指定」は、毎日指定した時刻にNTP同期合わせを行います。 「一回」は、この選択しを選択して設定メニューから抜けた時点に1回のみ、NTP同期合わせを行います。
接続時点	同期する時間あるいは時刻を設定します。(設定範囲:1〜24) ● 接続モードが「時刻指定」の場合: 設定範囲は01:00AM〜24:00AMです。毎日設定した時刻にNTP時刻合わせを行います。 ● 接続モードが「周期指定」の場合: 設定範囲は1時間ごと〜24時間ごとです。例えば、「8時間ごと」に設定したら、8時間ごとにNTP時刻合わせを行います。

2.6.2. メール送信設定

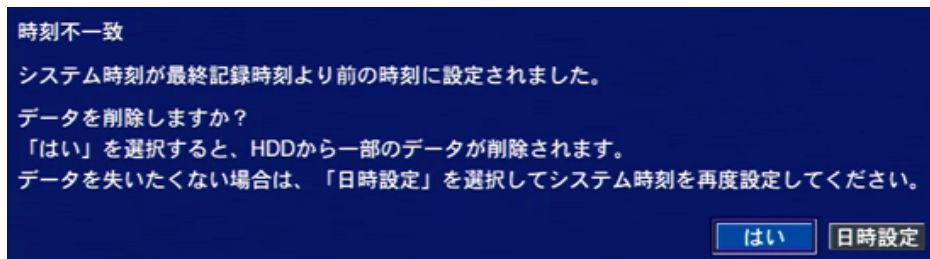
DVRからメールを送信するための設定を行います。

メール送信メニューの設定

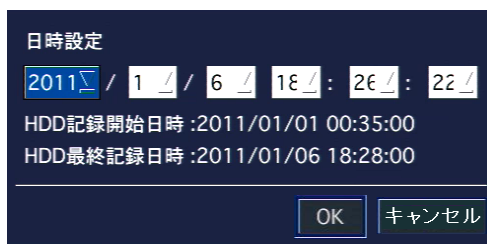
項目	説明
伝送モード	イベント発生時に送信するメールの形式を選択します。(選択肢:テキスト/動画) テキストを選択すると、イベントが発生した内容のみ、メールで送信します。 動画を選択すると、イベントが発生した動画が添付されたメールが送られます。
IPアドレス変更通知	DVRのIPアドレスが変更になると通知メールを送信します。(選択肢:ON/OFF)
イベント通知	イベントによるアラームが発生すると通知メールを送信します。(選択肢:ON/OFF)
HDD温度感知メール	ハードディスクの温度がHDD温度感知設定で設定した上限値以上に上がるとメールを送信します。(選択肢:ON/OFF)
DVR状態通知メール	DVRのハードディスク情報、録画状況、スクリーンショットなどの情報をメールで送信します。(選択肢:ON/OFF) …ボタンをクリックし、表示される下位画面でメールを送信する周期を指定することができます。
メールポート	メール伝送時のポート番号を指定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、ポート番号を入力します。
セキュリティー設定	セキュリティーのため、暗号化された送信を対応するメールサーバーを使用する場合、プロトコルを選択します。(選択肢:なし/SSL/TLS)
メールアドレス	メールの送信先を指定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
メールサーバー名	メールの送信元のサーバーを指定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
ID	メールサーバーに接続するユーザーのIDを設定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、IDを入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。…ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。

2.6.3. 時刻不一致が発生した場合は

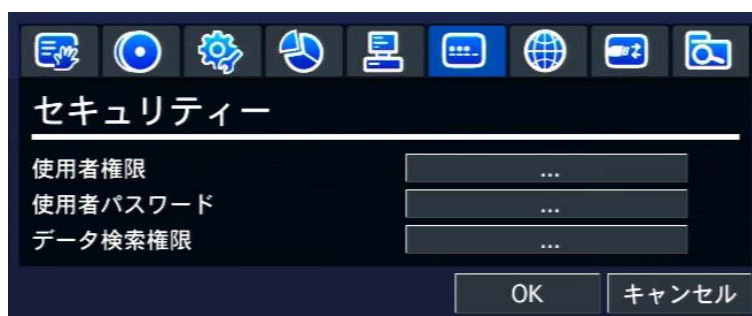
日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステム的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

① 日時を変更してシステムが再起動した時、変更した新しい日時より以前の時刻の録画データが存在すると「時刻不一致」のメッセージが表示されます。

② 新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、日時設定を変更するかを選択します。

③ 選択肢から「はい」を選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータはハードディスクから消去します。

④ 選択肢から「日時設定」を選択すると、日時設定画面が表示されます。

⑤ 日時を変更し、「OK」をクリックすると、日時設定が更新されます。

2.7. セキュリティー設定

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。

セキュリティーメニューの項目

項目	説明
使用者権限	ボタンを押すと、使用者権限画面が表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※ このメニューには、「ADMIN」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「2.7.1. 使用者権限設定」をご参照ください。

使用者パスワード	ボタンを押すと、使用者パスワード画面が表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※　詳細は「2.7.2. 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	ボタンを押すと、データ検索権限画面が表示され、各使用者が検索できるチャンネルを設定できます。 ※　このメニューには、「ADMIN」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※　詳細は「2.7.3. データ検索権限設定」をご参照ください。

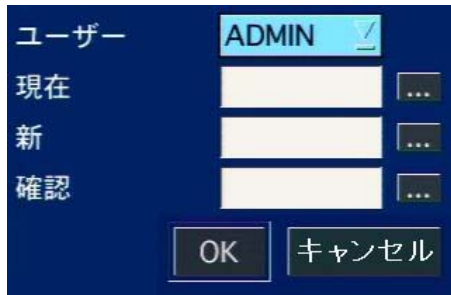
2.7.1. 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

使用者権限メニューの設定

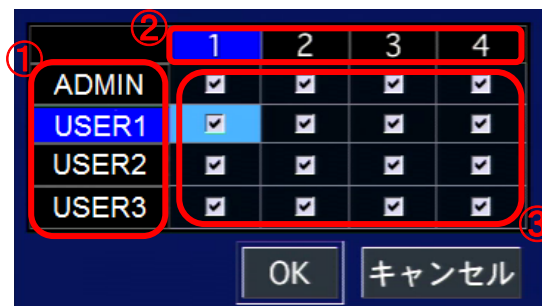
項目	説明
① **パスワード**	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
② **パスワード確認**	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができます。
③ **アクセス権限**	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。

2.7.2. 使用者パスワード設定

各ユーザーのパスワードが変更できます。

使用者パスワードの設定

項目	説明
ユーザー	パスワードを設定･変更したい使用者を選択します。(選択肢：ADMIN/USER1/USER2/USER3)
現在	ボタンを押すと文字表が表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※　各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は1111です。
新	ボタンを押すと文字表が表示されます。変更したいパスワードを入力します。
確認	ボタンを押すと文字表が表示されます。上記の「新」で入力したパスワードをもう一度入力します。

2.7.3. データ検索権限設定

各ユーザーが検索できるチャンネルが設定できます。

データ検索権限の設定

項目	説明
① ユーザー	検索権限が設定できるユーザーリストです。
② チャンネル	検索権限が設定できるチャンネルリストです。
③チェックボックス	各ユーザーは、チェックがはずされたチャンネルの再生映像を見ることができません。

2.8. ネットワーク設定

ネットワークで接続するための設定を行います。

ネットワークメニューの項目

項目	説明
ポート番号	... ボタンを押すと表示される数字表で、クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に使用するポート番号を入力します。
ネットワークオーディオポート	クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に音声を伝送するためのポート番号です。この項目は、ポート番号に指定した番号の+1の数字が自動的に設定されます。
WEBポート	... ボタンを押すと表示される数字表で、WEBクライアントや遠隔設定画面を表示するためのWEBブラウザー接続時に使用するポート番号を入力します。
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢： 固定/DHCP) ● 固定： 固定IPを使用する場合、選択します。この項目の下位項目(IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS(第1)・DNS(第2))を使用者が直接入力して設定します。 ● DHCP： 固定ではない、動的IPを使用する場合に選択します。ルーターを使用している場合はこれを選択してください。 ネットワークタイプがDHCPの場合、この項目の下位項目(IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS(第1)・DNS(第2))の設定値が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
IPアドレス	... を押すと表示される数字表で、DVRに割り当てられたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	... を押すと表示される数字表で、使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	... を押すと表示される数字表で、使用するネットワークのゲートウェイを入力します。
DNS(第1)	... を押すと表示される数字表で、DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS(第2)	... を押すと表示される数字表で、DNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS	ネットワークを通じてDVRにアクセスする時、IPアドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNSサーバーに登録し、DDNSサービスを利用することができます。(選択肢： OFF/サーバー1/サーバー2)

サーバー1かサーバー2を選択し、... ボタンを押すと表示されるDDNSサーバー設定画面で、使用するDDNSサーバーを設定します。

※　詳細は「2.8.1. DDNSサーバーの設定」をご参照ください。

ネットワークストリーム

... ボタンを押すとネットワークストリーム設定画面が表示されます。

ネットワークを通じて外部のPCへ伝送するデータのフレームレートや画質をチャンネルごとに設定します。

2.8.1. DDNSサーバーの設定

※注意：この機能を利用するためには、別途DDNSサーバーへの登録が必要です。
事前に販売窓口へご相談ください。

※注意：bestddns.comが提供するサービスは無償ですので、いかなる場合も機能を保証するものではなく、
また同時にサービスの常時提供を保証するものではありません。

DDNSサーバーに登録したドメイン名で外部PCからアクセスすることができます。

2.8.1.1.　bestddns.comを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー1」を選択し、... ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

DDNSサーバー1の設定

項目	説明
DDNSサーバー名	DDNSサーバー名を選択します。日本地域では、「bestddns.com」を選択してください。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：　5～60分)

2.8.1.2.　その他のDDNSサーバーを利用する場合

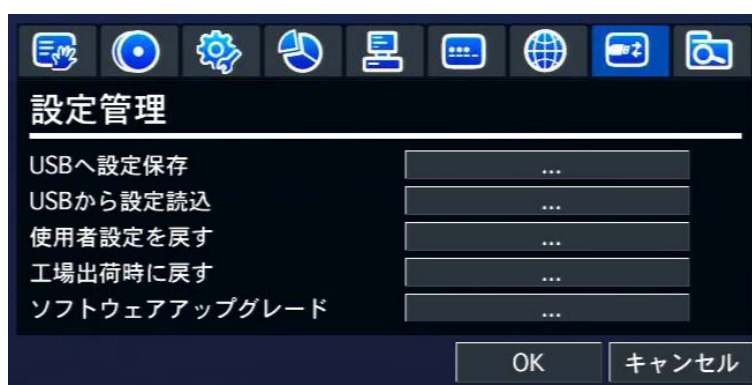
「DDNS」項目に「サーバー2」を選択し、... ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

DDNSサーバー2の設定

項目	説明
DDNSサーバー名	ボタンを押すと表示される文字表で、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲: 5～60分)

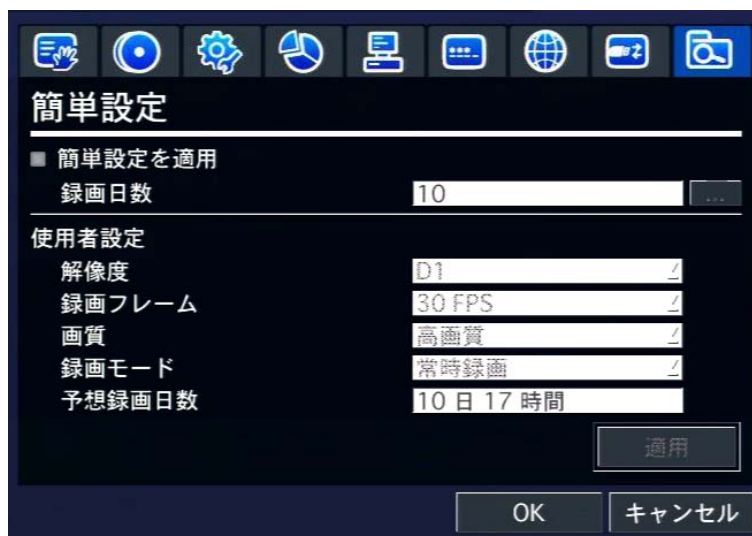
※注意:本機は、他のすべてのDDNSサーバーとの組み合せにおいて、いかなる場合も
正常な動作を保証するものではありません。

2.9. 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。

設定管理メニューの項目

項目	説明
USBメモリーへ設定保存	DVRの現在の設定値をUSBメモリーに保存します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、この項目を選択すると、USBメモリーの中にconfigフォルダーが生成され、DVRの設定値がCFG形式で保存されます。
USBメモリーから設定読込	USBメモリーに保存した設定値をDVRに呼び出します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、この項目を選択すると、USBメモリーの中のconfigフォルダーに保存されている設定値を読取り、DVRの設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	設定を初期化します。但し、言語・DVRのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・サマータイム設定・ネットワーク設定・HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は維持されます。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時と同じく初期化します。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、設定値が初期化されます。
ソフトウェア アップグレード	この項目は、サービス専用です。この機能の操作は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2.10. 簡単設定

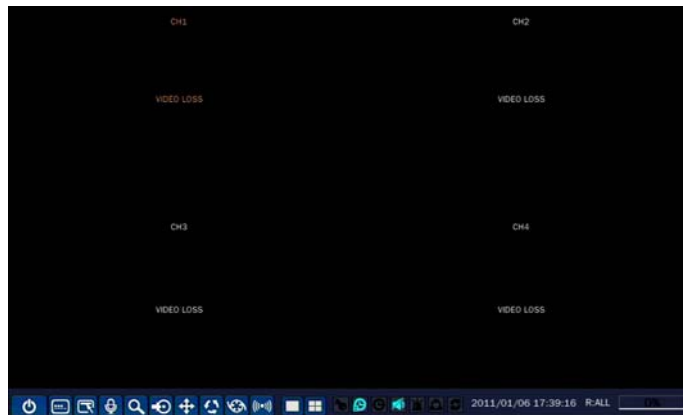
録画したい日数に合わせて、録画条件が自動的に設定されます。

簡単設定メニューの項目

項目	説明
簡単設定を適用	簡単設定を使用するかを設定します。 チェックボックスにチェックを入れると、装着されているハードディスクの総容量を基準とし、「録画日数」に合わせてシステムが最適の録画条件を設定します。 ※　「簡単設定を適用」すると、「録画」メニューに設定されている録画条件は無視されます。
録画日数	簡単設定を適用して、録画したい日数を指定します。 ... ボタンを押すと表示される文字表で、数字を入力します。
使用者設定	この下位項目の解像度、録画フレーム、画質、録画モード、予想録画日数は、使用者が「録画日数」に入力した数字によって自動的に変更されます。 また、各項目の設定値を直接変更することもできます。その場合、システムの計算によって予想録画日数が変わります。

注意 ：「予想録画日数」は、理論上の計算による推定値です。画像の動きや色彩によって、実際の録画日数とは異なることがあります。

3. ライブ監視

3.1. ライブ画面の説明

DVRが起動すると最初に表示される基本モードです。接続されているカメラのライブ映像が見られます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。

ライブ画面のタスクバーの表示アイコン

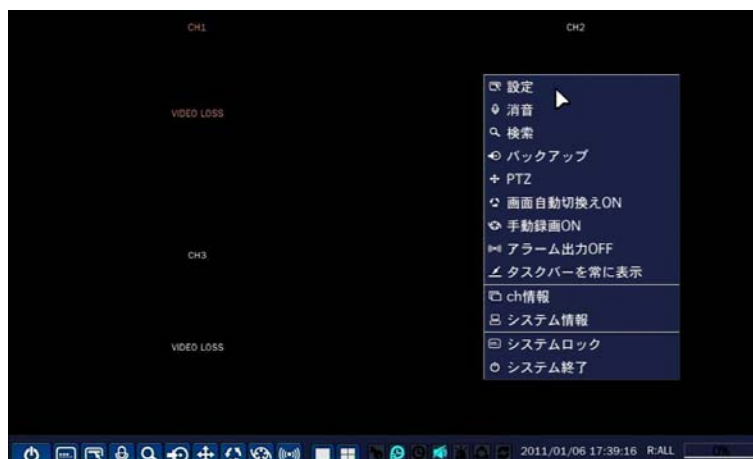
アイコン	説明
	システムを終了します。
	使用者の操作をロックします。クリックしてADMIN(管理者)のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定メニューに入ります。 ※　設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
	音声を出力するモードを選択します。クリックするごとにCH1音声出力→CH2音声出力→CH3音声出力→CH4音声出力→消音→CH1音声出力→…の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※　検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
	ライブ画像の静止画をUSBメモリーやDVD-Rにバックアップします。 バックアップの前に、USBメモリーやDVD-RをDVRに装着してください。
	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※　PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、全チャンネル分割画面表示状態では動作しません。
	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
	アラーム出力機能をON/OFFにします。
	ライブ映像を1画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが切換わります。 ※　4/9/16画面表示状態で、1画面に表示したいチャンネルのライブ映像をダブルクリックすることで1画面表示することもできます。

	ライブ映像を4画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが4つずつ変わります。 ※　1画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた4つのチャンネルを4画面表示することもできます。
	ライブ映像を9画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが9つずつ変わります。 ※　4画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた9つのチャンネルを9画面表示することもできます。 ※　このアイコンは、EDR-0440Mでは表示されません。
	ライブ映像を16画面で表示します。 ※　9画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、16画面表示することもできます。 ※　このアイコンは、EDR-1640Mのみ表示されます。
	使用者の操作がロック状態の時にハイライトされます。
	アラーム出力機能がONの時にハイライトされます。アラーム出力機能がOFFの時には、外部センサーから入力があってもアラーム出力が発生しません。
	アラーム出力中に表示します。
	音声出力状態を表示します。音声出力モードによって、消音/1ch音声出力/4ch音声同時出力のアイコンに切換ります。
	モーション検知、外部センサー入力、VIDEO LOSS発生時に表示します。
	ネットワーククライアントがDVRに接続している時に表示します。
	画面自動切換えが動作している時に表示します。
2011/02/08 16:18	現在の日時を表示します。 ※　現在の日時は「システム」メニューで設定できます。
R:ALL	現在操作中のリモコンのIDを表示します。 例）リモコンのIDが35に設定してあると、R;35と表示されます。 リモコンIDが設定されていない場合はR:ALLを表示します。 ※　リモコンIDは「デバイス」メニューで設定できます。
90%	ハードディスクの使用容量を0～99%で表示します。

映像表示部の表示アイコン

アイコン	説明
チャンネル名	各チャンネル映像の上部の中央に表示されます。 チャンネル名は、「画面表示」メニューで設定できます。
VIDEO LOSS	映像入力端子に入力信号がないチャンネルの中央に表示します。
C	常時録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
M	モーション録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
S	センサー録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
R	手動録画中のチャンネル映像右上に表示されます。
A	アラーム発生中のチャンネル映像右上に表示されます。

3.1.1. ポップアップメニュー

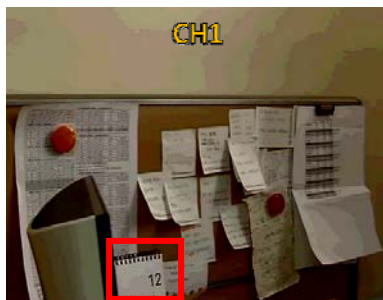
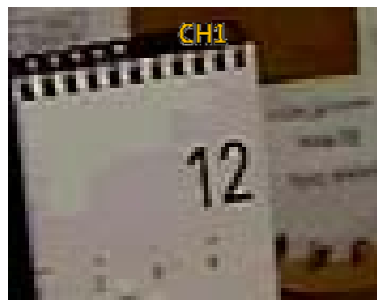
ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	設定メニューに入ります。 ※　設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
音声	音声を出力するチャンネルを選択します。クリックするごとに、 CH1音声出力→CH2音声出力→CH3音声出力→CH4音声同時出力→消音→CH1音声出力→…の順番で切換わります。
検索	検索メニューに入ります。 ※　検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
バックアップ	ライブ画像の静止画をUSBメモリーやDVD-Rにバックアップします。
カメラPTZ	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※　PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
画面自動切換え	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、1画面表示状態で動作します。
手動録画	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能をON/OFFにします。
タスクバー表示	タスクバーの自動隠し機能をON/OFFにします。
ch情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※　録画設定については「2.3. 録画設定」をご参照ください。
システム情報	システムの情報を表示します。 ※　システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックしてADMIN(管理者)のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

3.1.2. デジタルズーム

ライブや再生画面の画像を、デジタルズームアップすることができます。

① ライブや再生画面が1画面表示の時、拡大して見たい箇所をマウスの左ボタンでドラッグします。

② ドラッグした部分のみ、ズームアップして1画面に表示されます。

[マウス左ボタンでドラッグ]

[ズームイン画面表示]

4. 検索と再生

4.1. 検索メニューの基本操作

4.1.1. 検索画面に入るには

① 検索画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

4.1.2. 再生時の操作

各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。

再生画面のコントロールパネルの機能

番号		説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムバー**	再生中の日付の24時間をバーで表示します。録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。マウスでスライドノブをドラッグ＆ドロップすると、再生時点が変更できます。
③	**画面分割**	再生画面の表示方法を選択します。
④	**再生状態**	現在の再生モードを表示します。正/逆方向、再生速度などの情報が表示されます。
⑤		クリックするごとにボタンが⇔に切換わります。をクリックすると静止画を表示、をクリックすると再生を再開します。
		現在再生中の時刻より1分前/先の映像にジャンプして再生します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が下記の表のように変わります。

画面分割	再生速度
1画面	x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2 x4→…
4画面	x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→…
9画面	x2→x4→x →x16→x2→x4→…
16画面	x2→x4→x8→x2→x4→…

	正方向にスロー再生します。クリックするごとに再生速度が1/4→1/2→1/4…に切換ります。
	再生中の映像を静止画か動画でバックアップします。
	再生を中止して検索メニューに戻ります。前面パネルやリモコンの「ESC」ボタンを押しても検索メニューに戻ることができます。

4.2. タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。

① 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

4.2.1. タイムラインからデータを検索するには

タイムライン検索画面の構成は下図の通りです。

タイムライン検索画面の説明

番号		説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムスケール**	スケールの上の赤いスライドノブをドラッグ＆ドロップすることで、再生を始めたい時点を選択します。最初に表示されるスケールは、3時間単位で24時間が表示されますが、ボタンをクリックすることで、10分単位で60分を表示し、さらに選択範囲を絞ることができます。
③	**タイムライン**	各チャンネルの録画データをタイムラインで表示します。録画データのある時間帯は水色で表示されます。
④		タイムスケールの目盛りの単位を変更します。クリックするごとタイムスケールの表示単位が24時間⇔60分に切換ります。
		タイムスケールの表示単位が60分の時、このボタンをクリックするごとに、現在表示中の時間より1時間前/先の時間帯を表示します。 ※　タイムスケールの表示単位が24時間の時は、動作しません。

⑤	チャンネル	再生したいチャンネルを選択します。「ALL」にマークをつけて「再生」ボタンをクリックすると、全てのチャンネルが分割画面で再生されます。

4.3. イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。

① 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ イベント検索画面で、チャンネルやイベントを指定すると表示されるログから、再生したい録画データを選び、「再生」をクリックすると再生が始まります。

4.3.1. イベント検索画面からデータを検索するには

イベント検索画面の構成は下図の通りです。

イベント検索画面の説明

番号		説明
①	**検索条件**	検索するチャンネルとイベントタイプを表示します。[...]をクリックすると表示される検索条件画面から、検索したいチャンネルやイベントのタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。検索したいチャンネルやイベントのタイプは、複数選択することができます。
②	**ログ**	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。

③	ページ	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の場合、< >をクリックすると前/次のページを表示することができます。
④	バックアップ	検索されたログを、txt形式のファイルでUSBメモリーに保存します。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

4.4. 先頭映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

4.5. 最終映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている録画データから一番最新の1分間のデータの再生が始まります。

4.6. 日時指定検索

検索メニューで「日時指定検索」を選択すると、検索したい録画データを年/月/日/時/分/秒で指定できるようになります。日時を設定し、「再生」をクリックすると、指定された日時のデータが再生されます。
録画データがない場合は「データがありません」と表示されます。

4.7. キャプチャーリストの検索

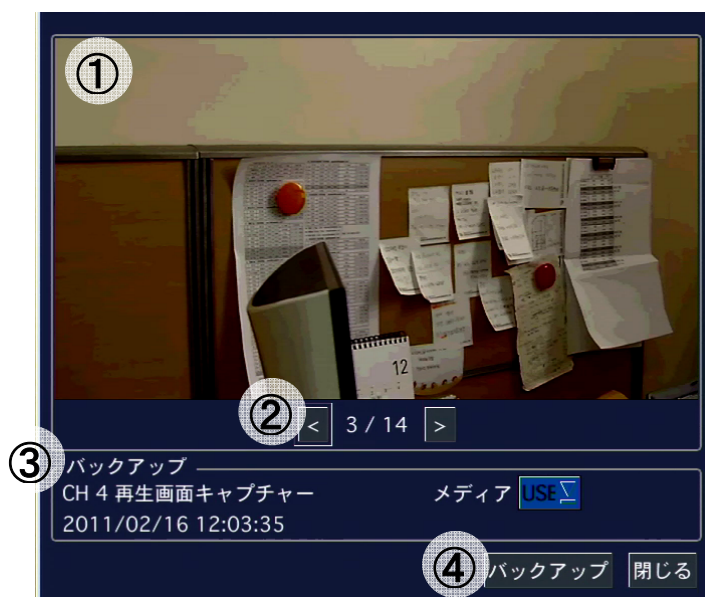
ライブや再生画面の動画や静止画をキャプチャーしたログを検索することができます。

① 検索メニューで「キャプチャーリスト」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、キャプチャーデータのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。検索したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ 選択した日のキャプチャー記録がリストで表示されます。リストから画像を見たいログを選択し、「表示」をクリックすると、キャプチャー画像の確認やバックアップができます。

4.7.1. キャプチャー画像を確認・バックアップするには

キャプチャー画像の画面の構成は下図の通りです。

キャプチャー画像画面の説明

番号		説明
①	**キャプチャー画像**	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。
②	**ページ**	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。キャプチャーデータが複数の場合、< > をクリックすると前/次のキャプチャー画像が表示できます。
③	**キャプチャー情報**	キャプチャー時の情報を表示します。キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時、保存メディアなどの情報が確認できます。
④	バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、キャプチャーデータがUSBメモリーに保存されます。この時、動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

4.8. ログの検索

システムの動作・操作記録が閲覧できます。

① 検索メニューで「ログ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、システムログのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。検索したいログがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

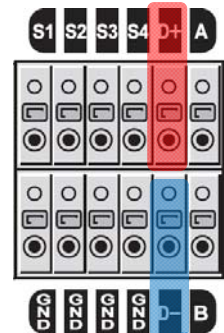
③ 選択した日のシステムログがリストで表示されます。USB端子にUSBメモリーを接続し、「保存」ボタンをクリックすると、リストをtxt形式のファイルでUSBメモリーに保存することができます。

5. PTZカメラの操作

5.1. PTZカメラの基本操作

5.1.1. PTZカメラの接続と設定

① RS-485対応のPTZカメラを、DVRの後面パネルのRS-485ポートに接続します。

② 「デバイス」メニューの「コントローラー＆PTZ」項目で、PTZの設定を行います。
※ 詳細は「2.4.2. コントローラー＆PTZ設定」をご参照ください。

5.1.2. PTZ操作画面に入るには

① PTZ操作画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「PTZ」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「PTZ」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

5.2. PTZ操作画面

PTZコントロールパネルのボタンの説明

ボタン	説明
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
パン/チルト	パン/チルトをクリックし、 右図のコントロールボタンをクリックすることで 移動したい方向へ移動します。
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカスをクリックし、 /でズームIN/OUTを、/でフォーカスNEAR/FARを調整します。
OSD表示	カメラのOSDをDVR画面に表示し、DVR側でカメラのメニューを設定することができます。 カメラOSDモードの操作には、下記のボタンを使用します。 ˄ ˅ ‹ › ：メニューの移動/設定値の変更 確定：下位メニューに入る/項目を選択する ESC：前画面に戻る/メニューを終了する
オートスキャン	操作の前に、カメラOSDからオートスキャン動作を設定してください。 オートスキャンをクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したオートスキャン番号を入力し、開始をクリックすると、オートスキャン動作が始まります。 停止をクリックするとオートスキャンを中止します。
プリセット	パン/チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、プリセットをクリックし、数字ボタンをクリックして設定の保存をクリックすると、その時点のカメラ位置が保存されます。 ※　カメラ位置は0～99番まで保存できます。 数字ボタンをクリックして移動をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。
ツアー	操作の前に、カメラOSDからツアーグループを設定してください。 ツアーをクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したツアーグループの番号を入力し開始をクリックすると、ツアー動作が始まります。 停止をクリックするとツアー動作が中止されます。
数字ボタン	オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。 3番以上の数字は、…をクリックして表示される入力表から入力できます。

6. バックアップ

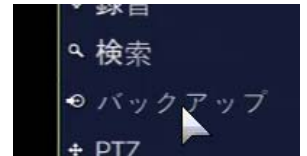
6.1. ライブ映像のバックアップ

6.1.1. ライブ映像を静止画でバックアップするには

① ライブ映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。
- ライブ監視中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、バックアップファイルを保存するメディア(USBメモリーかDVD-R)を選択し、「開始」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

③ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

④ バックアップされたライブ映像の静止画は、保存したメディアのバックアップ日の日付のフォルダーの中に保存されています。

6.2. 再生映像のバックアップ

6.2.1. 再生映像を静止画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。
- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルののアイコンをクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「静止画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ バックアップファイルを保存するメディア(USBメモリーかDVD-R)を選択し、「開始」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

④ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

⑤ バックアップされた再生映像の静止画は、保存メディアの録画データの日付のフォルダーの中にJPEG形式で保存されています。

6.2.2. 再生映像を動画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。
- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルののアイコンをクリックします。

② 再生映像をバックアップする動画形式は、汎用再生ソフトウェアで再生できるAVI形式と、専用ソフトウェアで再生できる独自のh264ファイル形式(NSF動画形式)の中で選択することができます。

6.2.2.1. NSF動画バックアップ

本機種独自の動画形式でバックアップし、専用ソフトで再生することで、データ管理のセキュリティーをさらに強化することができます。

① バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「NSF」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② 保存する装置のタイプにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。外付けHDDを選択した場合、1時間単位の大容量バックアップを行うことができます。

③ 下図のような画面が表示されると、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
大容量バックアップの場合、バックアップ時間の指定範囲が1～24時間に変わります。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「開始」をクリックしてください。

④ バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑤ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

⑥ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

6.2.2.2. AVI動画バックアップ

Window Media Playerなど、汎用動画再生ソフトから再生できるAVI形式でバックアップすることで、バックアップデータを簡単に再生することができます。

注意 ： PCでAVI動画ファイルを再生する際には、コーデック「UMSDecorderFilter」のインストールが必要です。
このコーデックはAVI動画バックアップを行った時に、「DvrPlayer」フォルダの中に一緒に保存されます。

① バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「AVI」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② 保存する装置のタイプにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ 下図のような画面が表示されると、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「開始」をクリックしてください。

④ バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑤ 「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、保存メディアを端子から取り外します。

⑥　バックアップされた再生映像の動画は、保存メディアの録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

6.3.　キャプチャーリストからのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

詳細は「4.7.1 キャプチャー画像を確認・バックアップするには」をご参照ください。

※　大容量バックアップの場合は、外付けHDDに直接記録されるため、キャプチャーリストには記録されません。

6.4.　NSF動画バックアップファイルの再生

再生映像の動画バックアップ時、「NSF動画形式」を選択すると、バックアップファイルが「h264」の拡張子で保存されます。この時、一緒に保存される「DvrPlayer」フォルダーの中の「HDPlayer.exe」プログラムで、NSF動画形式の動画ファイルを再生することができます。

注意 ： NSF動画形式は、本機種の独自の動画ファイル形式であるため、汎用の動画再生ソフトウェアで再生することはできません。

6.4.1. NSF動画ファイルやフォルダーの生成

バックアップしたNSF動画ファイルとHD Playerは、USBメモリーや外付けHDDのフォルダーに保存されています。その時、フォルダーやファイル名は下記のようにつけられます。

保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USBメモリーバックアップ	ドライブ¥yyyymmdd¥hhmmss	CH番号.h264
外付けHDD(大容量)バックアップ	ドライブ¥DVR¥yyyymmdd¥hhmm	CH番号.h264
HD Player	ドライブ¥DvrPlayer	HDPlayer.exe

6.4.2. HD Playerの構成

録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。

HD Playerの構成

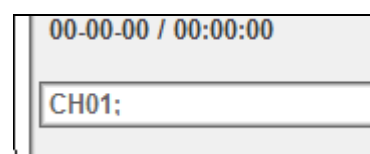
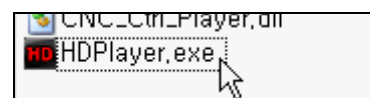
番号		説明
①	**画面表示部**	バックアップ映像が表示されます。 この部分をマウスで操作すると、画像のキャプチャーやデジタルズームなどができます。 ※ 詳細は「6.4.3.1. HD Playerで再生画面のキャプチャー」、「6.4.3.2. HD Playerで再生画面のデジタルズーム」をご参照ください。
②		HD Playerの画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、「ESC」ボタンをクリックしてください。
		HD Playerの画面を隠します。
		HD Playerの画面をフルスクリーンに表示します。
		HD Playerを終了します。
③	**タイムバー**	動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
④	**録画時刻**	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤	**録画チャンネル**	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
⑥		クリックするごとにボタンが⇔に切換わります。をクリックすると静止画を表示、をクリックすると再生を再開します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が2倍速→4倍速→2倍速･･･に変わります。をクリックして静止画状態になると、に切換ります。このボタンをクリックすると、1秒前/先の画像を表示します。
		現在再生中の時点より3秒前/先の映像にジャンプして再生します。
⑦	1 4 9 10 16	再生画面を分割画面で表示します。
⑧		再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。
		設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
		現在再生中の画像をプリンターでプリントします。

6.4.3. 動画バックアップファイルの再生

① HDPlayer.exeファイルをダブルクリックし、HD Playerを立ち上げます。

② をクリックし、再生したいh264ファイルのあるフォルダーを選択します。

③ チャンネル欄にチャンネル名が表示されることを確認し、をクリックします。

④ データの日時情報が表示され、再生が始まります。

6.4.3.1.　　HD Playerで再生画面のキャプチャー

HD Playerで再生中の動画の画像を、静止画で保存することができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部をマウスの右ボタンでクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

② ポップアップメニューの「Capture」をクリックすると、表示中の画像がPCのハードディスクにJPEGで保存されます。

③ ポップアップメニューの「About」をクリックすると、Setupメニューが表示され、キャプチャーする静止画の保存場所を指定することができます。

6.4.3.2.　　HD Playerで再生画面のデジタルズーム

HD Playerで再生中の動画の画像を、デジタルズームアップすることができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部にカーソルを位置させ、マウスのホイルを上へスクロールすると画像がズームイン、下へスクロールすると画像がズームアウトされます。

② この時、画面表示部の左下にはミニ画面が表示されます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示中の領域を示します。

③ マウスの左ボタンで画面をクリックしてドラッグすることで、ズーム表示領域の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示]

[ホイールでズームイン]

[ドラッグで表示移動]

7. 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVRの画像をパソコンの画面から見ることができます。

注意 ： 帯域幅が大きい場合は、1台のDVRに同時に接続できるPCの台数は4台までです。
帯域幅が小さい場合は、1台のDVRに接続するPCの台数は1台にすることをお勧めします。

注意 ： ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターからのポートの開放(Port Forwarding)が必要です。
DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、PCにマイクを接続し、DVRとの双方向オーディオ機能を使用したい場合は、基本ポート+1のポートをオープンしてください。
尚、WebクライアントやUMSクライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、Webポートをオープンしてください。
設定例） DVR本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルーターから5445/5446の2つのポートや、Webポートの80をオープンして使用します。

7.1. UMSクライアントソフトの動作環境

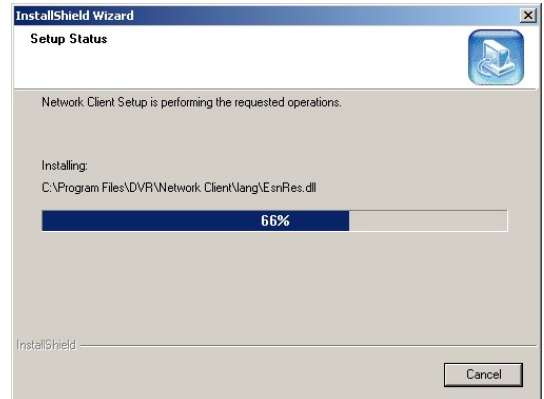
- CPU ： Intel Pentium Ⅳ 1.4Ghz以上
- メモリー ： 512MB (推奨 ： 1GB以上)
- VGA ： 64MB (推奨 ： 128MB以上)
- 解像度 ： 1024x768
- O/S ： Windows 2000/ XP Professional/ XP home
- Direct X ： DirectX 9以上

7.2. UMSクライアントソフトのインストール

① 付属のCD-ROMをPCのドライブにセットして、「UMSClient_3.*.*.*_yymmdd.exe／UMSMClient_3.*.*.*_yymmdd.exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。

③ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。

⑤ インストールが終了すると、右図のような「UMS Client／UMS Multi Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

⑥ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

7.3. UMSクライアントの使用

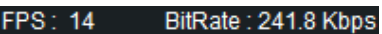
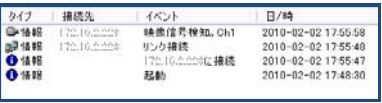
遠隔地にあるDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

7.3.1. 接続のしかた

UMSクライアントからDVRに接続するには、以下のような方法があります。

- DVR情報を直接入力して接続
  - ① コントロールパネルの Connect をクリックすると、接続画面が表示されます。
  - ② 接続先のDVRの設定にあわせて、IPアドレス、ポート番号、ID、パスワードを入力して「OK」をクリックします。
    - 接続先アドレス: DVRのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
    - ポート番号: DVRのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
    - ID: 接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
    - パスワード: DVRの「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。

- 登録したDVR情報をリストから選択して接続
  - ① コントロールパネルの Setup をクリックすると、セットアップ画面が表示されます。
  - ② 左側のメニューから「接続先」を選択し、右側に表示される接続先リスト画面から 追加 をクリックすると、接続先追加画面が表示されます。
  - ③ 接続先名に管理者用のDVR名を入力し、登録したいDVRの設定にあわせて、IPアドレス、ポート番号、ID、パスワード、チャンネル数などの情報を入力して「OK」をクリックします。
  - ④ 接続先リストに追加されたことを確認し、「OK」をクリックしてセットアップ画面を閉じます。

⑤ Connect をクリックして、接続先名や接続先アドレスのドロップダウンリストから、登録した接続先を選択することができます。接続したい接続先を選択して「OK」をクリックします。

※ 接続時のIDとパスワードは、DVRの使用者権限にしたがって入力してください。(admin/ user1/ user2/ user3)

7.3.2. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	現在の日時を表示します。
Connect	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
Search	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
1 2 3 4	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
PT ZF	パン/チルト ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZカメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZカメラのツアー動作を行います。

	カメラOSD	カメラのOSDメニューをUMSの映像表示部に表示します。
Capture	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
Pause	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
Backup	録画ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
Preset	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
Setup	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
Alarm	アラーム	DVR側にアラームを発生させます。
HDD	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
FPS : 14 BitRate : 241.8 Kbps	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

※注意:ご使用のカメラの種類によっては一部の機能が使えない場合があります。

7.3.2.1. UMSクライアントのデジタルズーム機能

DVR本体と同様、UMSクライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

① UMSクライアントの画面表示部にカーソルを位置させると、画面表示部の左下にミニ画面が表示されます。

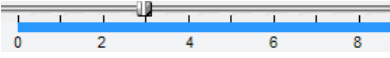
② マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームイン・アウトされます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

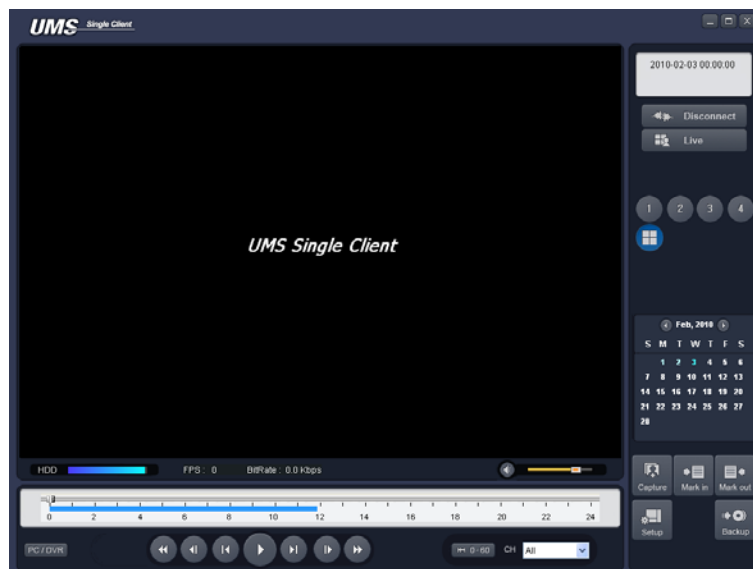
③　マウスの左ボタンで画面をドラッグすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。

［左下にミニ画面が表示］　　　　　　［ホイールでズームイン］　　　　　　［ドラッグで表示移動］

※　再生画面も同じ方法でズームすることができます。

7.3.2.2.　　双方向オーディオ

UMSクライアント側とDVR側の双方向オーディオ通信ができます。

- PC(UMSクライアント)側 ： マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。
- DVR側 ： マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

7.3.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
Connect	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
Live	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。

	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
Capture	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。
Mark in	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
Mark out	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
Backup	バックアップ	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	タイムラインバー	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック＆ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
PC / DVR	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
/	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
/	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
/	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
/	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
0-24 / 0-60	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

7.3.3.1.　動画のバックアップ

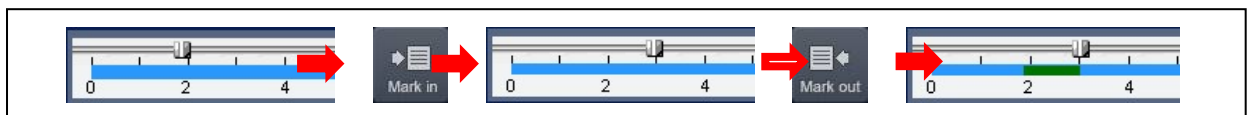
DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

① PC / DVRボタンでパソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。

－PCのデータを再生：UMSクライアントでライブ画面の監視中に、Backupボタンをクリックしてパソコンのハードディスクに保存しておいたデータを再生できます。

－DVRのデータを再生：DVRの録画設定により、DVRのハードディスクに保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

② タイムラインのスライドノブをドラック＆ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、Mark inボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

③ スライドノブを再度ドラック＆ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、Mark outボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。

④ バックアップする区間が緑色で指定された状態で、Backupボタンをクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。

- チャンネル選択 ： バックアップするチャンネルを選択します。
- 開始点/終了点 ： バックアップする時間を再指定することができます。
- 保存場所 ： バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。デフォルトはC:¥Storage¥Backupになっています。
- ファイル形式 ： AVIファイル形式で保存されることになります。

⑤ バックアップ設定を終え、「OK」ボタンをクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

7.3.4. 設定のしかた

ボタンをクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

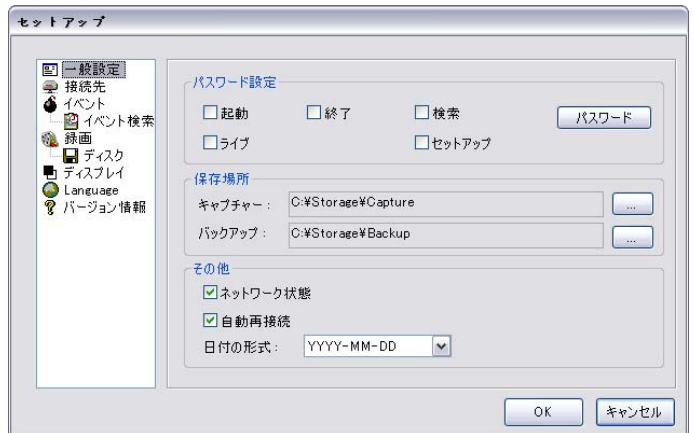
一般設定

パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。

保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態 ： ライブモードで、FPSやBitRateなどのネットワークのステータスを表示します。

自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

接続先

接続したいDVRのSite名、IPアドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMSクライアントから接続することができます。

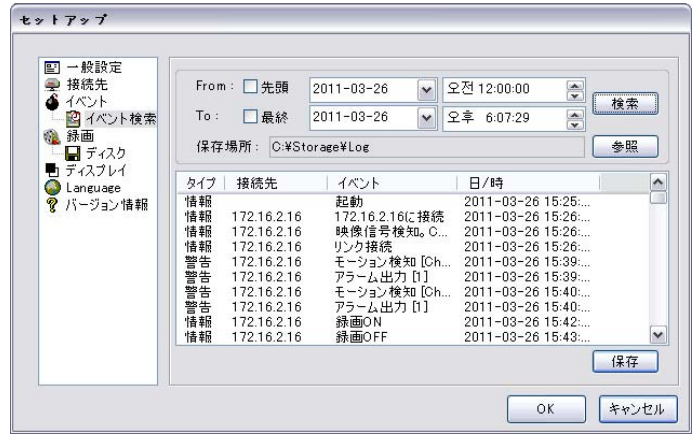
接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

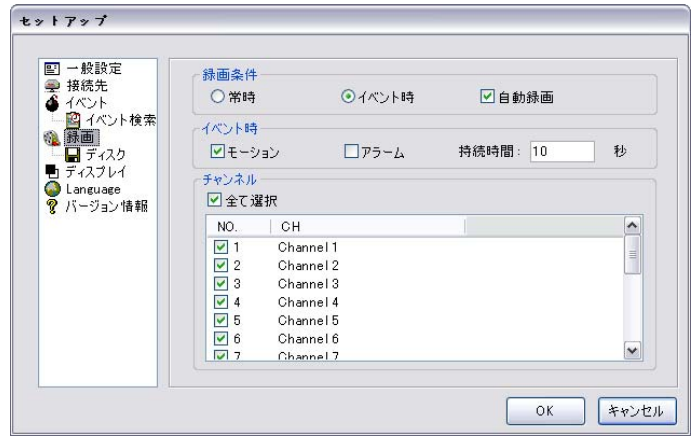
イベント

ログ ： UMSクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。

イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索

イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

録画

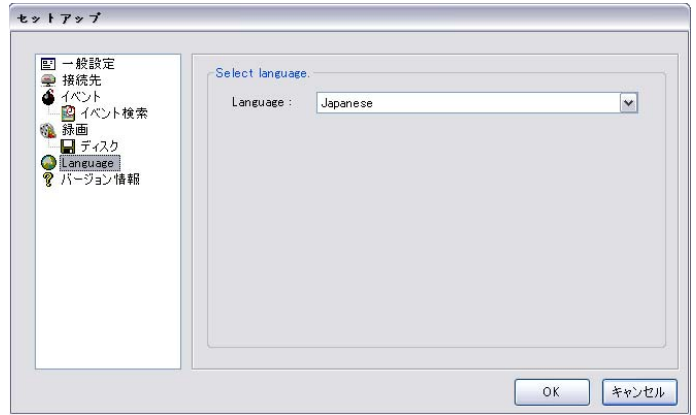
UMSクライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。

ディスク

UMSクライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

ディスプレイ

複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語

UMSクライアントは多言語に対応しています。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。

7.3.5. ポップアップメニュー

UMSクライアント画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

マイクON

PCに接続されているマイクを利用し、DVRが設置されている現場に音声を送ることができます。

フルスクリーン

UMSクライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。
フルスクリーン表示を解除する時は、PCの「ESC」ボタンを押します。

セットアップ

UMSクライアントの設定を行います。

※　詳細は、「7.3.4. 設定のしかた」

遠隔設定

接続中のDVR本体の設定を遠隔で変更できます。

※　詳細は、「7.3.6. 遠隔設定」をご参照ください。

ロック

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。パスワードを入力すると、画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。
ロックの解除は同じ手順で行います。

※　ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定とは関係なく、4～8桁の臨時のものを使います。

終了

UMSクライアントソフトを終了します。

7.3.6. 遠隔設定

接続中のDVR本体の設定を遠隔で変更できます。

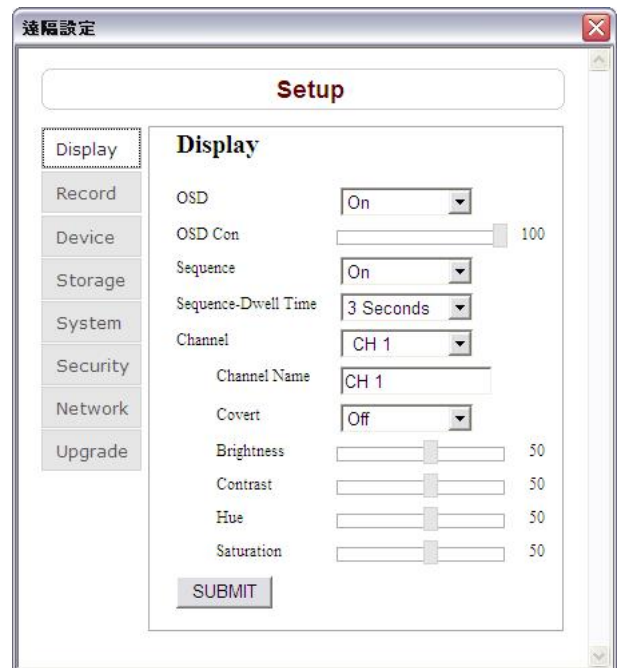
① ポップアップメニューから「遠隔設定」をクリックすると、遠隔設定の画面が表示されます。

② 設定を変更し、下部の「SUBMIT」ボタンをクリックすると、変更した設定内容がDVR本体に反映されます。

※ 各設定項目の詳細内容は、「2. 設定のしかた」をご参照ください。

※ 遠隔設定では、DVR本体の「設定管理」、「簡単設定」の設定は変更できません。

③ DVRに遠隔設定が完了したら、「Setup Success」のメッセージが表示されます。

④ 「UPGRADE」のタブはサービス専用です。この機能の操作は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

7.4. UMSマルチクライアントの使用

遠隔地にある複数のDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

7.4.1. 接続のしかた

7.4.1.1. 接続先の登録

UMSマルチクライアントからDVRに接続するには、接続したいDVRの情報をあらかじめ登録しておく必要があります。

① 左側の操作パネルの上部にあるアイコンをクリックします。

② 「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。

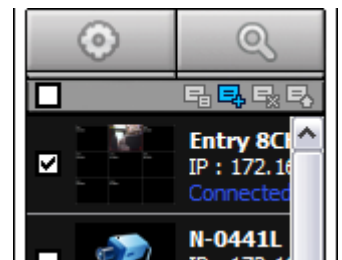
- 接続先名： DVRに、管理者用の名称をつけてください。
- 接続先アドレス： DVRのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
- ポート番号： DVRのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
- ID： 接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
- パスワード： DVRの「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。

③ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。

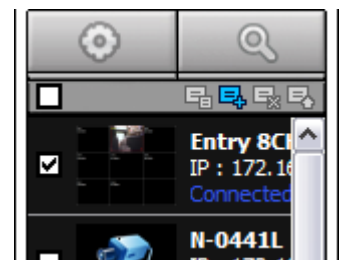
※ 登録可能な接続先の数は、制限されておりません。

7.4.1.2. 接続先への接続

①接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は、16ヶ所です。

②ボタンをクリックすると、チェックされた接続先に接続されます。

7.4.1.3. 接続の切断

① 接続先リストから、接続を切断したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは16つまで複数選択可能です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先の接続が切断されます。

7.4.2. ライブモードの構成と各部のはたらき

UMSクライアントを立ち上げると、最初に表示される画面です。ライブ映像の監視や設定ができます。

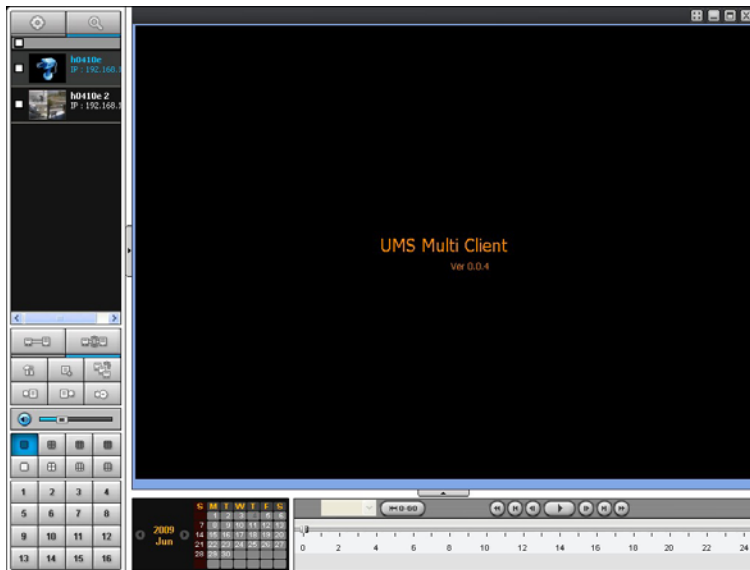
ライブ画面のコントロールボタン

ボタン	機能
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 接続中の接続先は、「Connected」と表示されます。 サムネール更新: 接続中の接続先のサムネールを更新します。 接続先追加: 接続先リストに、新しい接続先を登録します。 接続先削除: ハイライトされている接続先をリストから削除します。接続中の接続先は削除できません。 ネット検索: 登録されている接続先のリスト表示され、接続先の追加・削除・変更することがします。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ ： UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「7.4.4. セットアップのしかた」をご参照ください。
	キャプチャー ： ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト ： プログラム起動時から終了までのイベントログの閲覧画面が表示されます。
	一時静止 ： ライブ画面を静止画に表示/解除します。

	アラームON/アラームOFF ： DVR側に接続してあるアラームを出力開始/中止させます。
	録画ON/録画OFF ： ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存開始/中止します。
	ライブ映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	マイクの音声出力を入/切します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	DVRに接続中のPTZカメラのプリセット動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがプリセットモードに切換ります。
	DVRに接続中のPTZカメラのツアー動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがツアーモードに切換ります。
	DVRに接続中のPTZカメラのスキャン動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがスキャンモードに切換ります。
	DVRに接続中のカメラのOSDメニューを表示します。 クリックすると、コントロールボタンがカメラOSDモードに切換ります。
PT	コントロールボタン ： DVRに接続中のPTZカメラに対して、パン/チルト/ズーム/フォーカス/プリセット/ツアー/スキャン/カメラOSD操作の制御を行います。
	UMS画面をフルスクリーン表示/最小化/最大化/終了することができます。 フルスクリーン表示から元の状態に戻すためには、ESCボタンをクリックしてください。
	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。 をクリックすることで、画面表示部の下の分割ボタンを表示/非表示することができます。
	チャンネル分割 ： ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
	接続先分割 ： 画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。

※注意：ご使用のカメラの種類によっては、一部の機能が使えない場合があります。

7.4.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVRの保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地のDVRのハードディスクに保存されている映像を再生することができます。

検索画面のコントロールボタン

ボタン	機能
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。
	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。
	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 DVRのハードディスクに保存されている動画を検査する時、検索中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ ： UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 セットアップ画面は、ライブモードの画面に表示されます。
	キャプチャー ： 再生画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト ： プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
	開始点 ： 動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。

	終了点 ： 動画でバックアップしたい再生映像の終了点を指定します。
	バックアップ ： 指定した映像の範囲を動画でバックアップすることができます。
	再生映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
	接続先分割 ： 画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。
	チャンネル分割 ： ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	チャンネル選択 ： 1画面で表示したいチャンネルを選択します。
	再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。 映像表示部の下部には、伝送中のフレームレートやビットレートが表示されます。 をクリックすることで、画面表示部の下のカレンダー、再生操作ボタン、タイムラインを表示/非表示することができます。
2010 Nov	カレンダーから、データを再生したい日付を選択します。 をクリックすると前月、をクリックすると次月に切換わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
All	データを検索したいチャンネルを選択します。 選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
0-60 24 HOUR	タイムラインの目盛りの単位を切換えます。 24 HOURをクリックすると、選択した日付のデータが24時間で表示されます。 0-60をクリックすると、1時間分のデータが60分で表示されます。
	再生画面を操作するボタンです。 再生/一時静止/早送り/早戻し/1分スキップなどの操作ができます。
	1日または1時間をタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は、タイムライン上に水色の線で表示されます。

7.4.3.1.　再生のしかた

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを検索して再生することができます。

① ライブ画面の操作パネルから、パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合はを、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合はをクリックします。

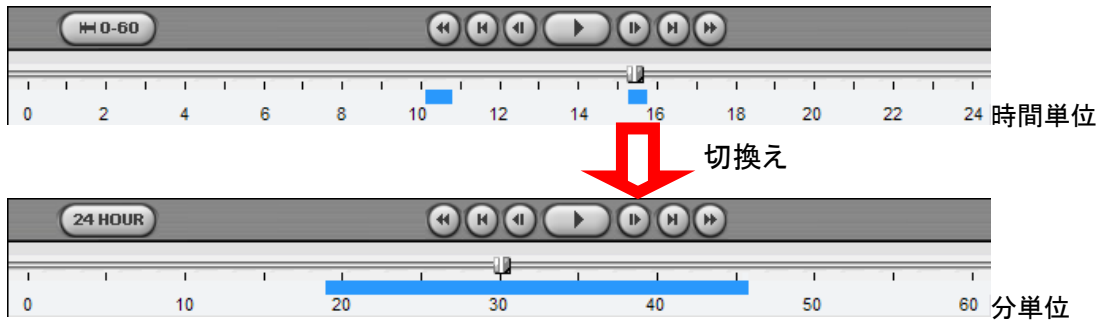
② 接続先リストから、データを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、をクリックします。

※　パソコンのハードディスクのデータを検索する時は、この作業を行う必要はありません。

③ カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。録画データのある日付はオレンジ色に、選択された日付は水色に表示されます。

④ 選択された日の録画データをタイムラインから確認します。録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線で表示されます。

⑤ タイムラインの上のスライドノブをドラック＆ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。

タイムラインの目盛りを「24時間」から「60分」に切換えると、再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。

⑥ をクリックすると、再生がはじまります。

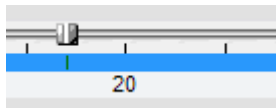
再生中のコントロールボタンは、以下のようなものがあります。

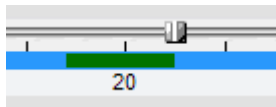
ボタン	機能
	再生/一時静止 クリックするごとに映像の再生、静止画の表示状態に切換わります。
	早送り/早戻し クリックするごとに再生速度がx1、x2、x4、x8、x16に切換わります。
	1分スキップ 現在の再生ポイントから1分前・先にジャンプして再生します。
	コマ送り クリックするごとに前・先の画像を1フレームずつ表示します。

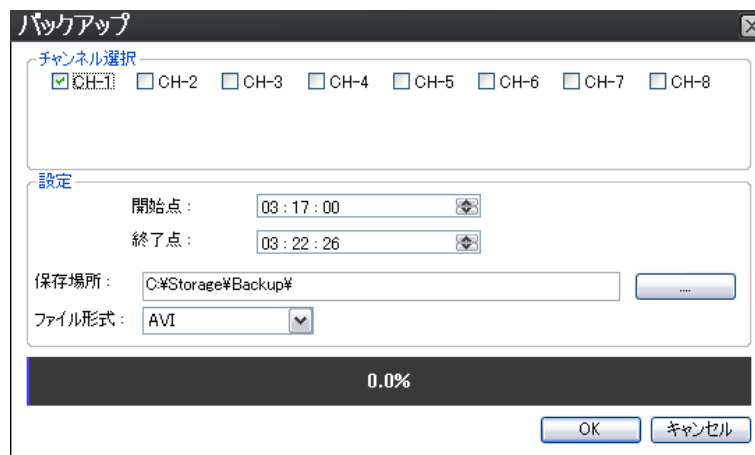
7.4.3.2.　動画のバックアップ

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

① タイムラインで、録画データのある時間帯を確認します。

② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して、ボタンをクリックします。

指定された開始点に濃い緑色の線が表示されます。

③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して、ボタンをクリックします。

指定した開始点から終了点までの範囲が濃い緑色の線で表示されます。

④ ボタンをクリックすると、バックアップ画面が表示されます。

⑤ バックアップ画面で設定を行います。

- チャンネル選択 ： バックアップしたいチャンネルを選択します。
- 開始点 ： 指定したバックアップ範囲の開始点をさらに変更できます。
- 終了点 ： 指定したバックアップ範囲の終了点をさらに変更できます。
- 保存場所 ： バックアップした動画を保存する場所を指定します。

※ セットアップメニューの一般設定でも指定できます。

⑥ 「OK」をクリックすると、バックアップが始まり、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑦ バックアップされたファイル名は[チャンネル番号＋録画時刻＋ファイルの形式]で保存されます。

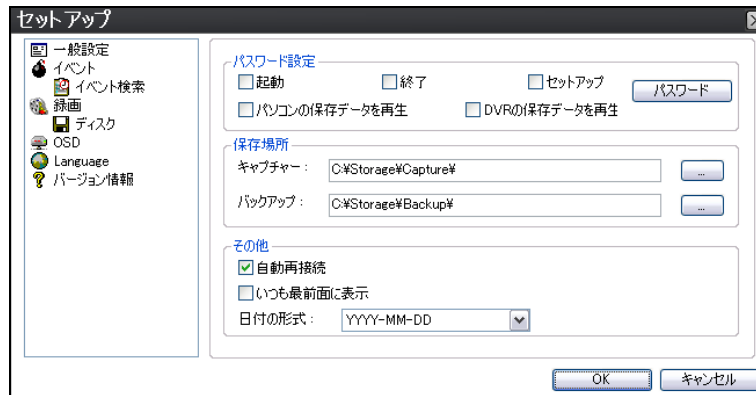
例）

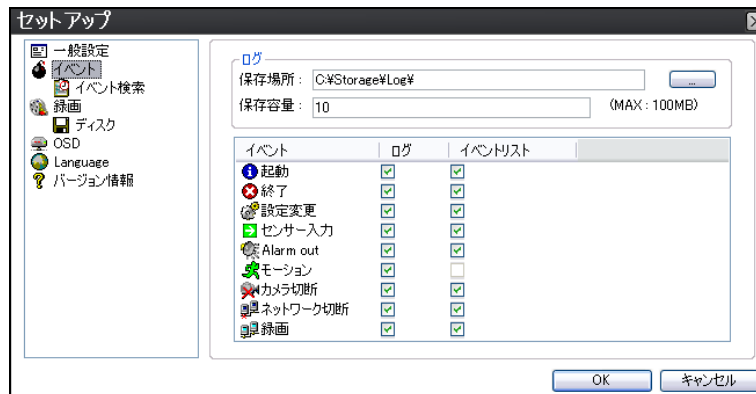
[CH04]04_11_58.avi ＝ 4番チャンネルの4時11分58秒からの録画映像の動画ファイル

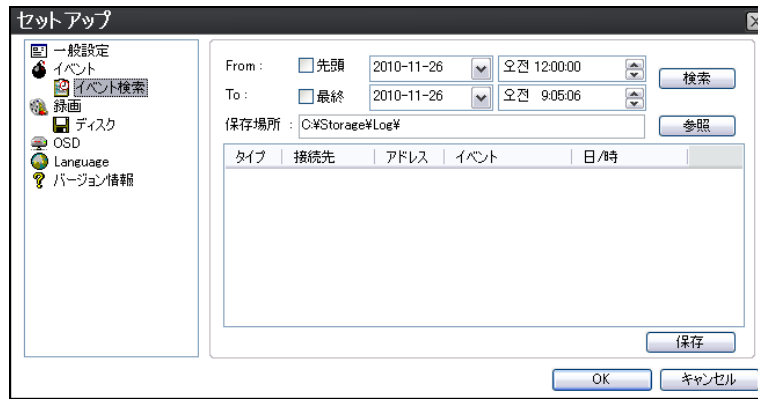
⑧ AVI形式で保存された動画ファイルは、Windows Media Playerなど、AVI対応の汎用の映像再生ソフトで再生できます。

7.4.4. セットアップのしかた

ボタンをクリックするとセットアップ画面が表示され、UMSマルチクライアントの設定が変更・確認できます。

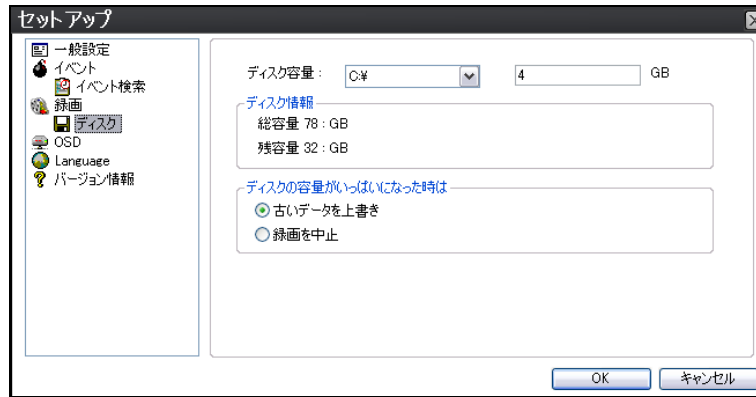
一般設定

- パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。
- 保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
- 自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。
- いつも最善面に表示 ： 他のウィンドウを重ねてもUMSマルチクライアント画面が隠されないようになります。
- 日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

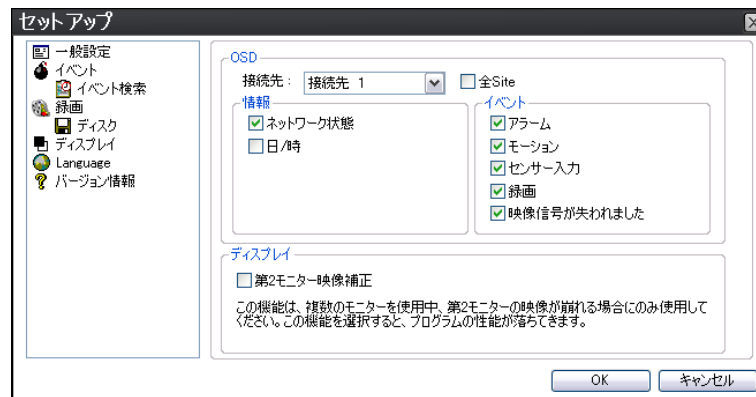
イベント

- ログ ： UMSマルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
- イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

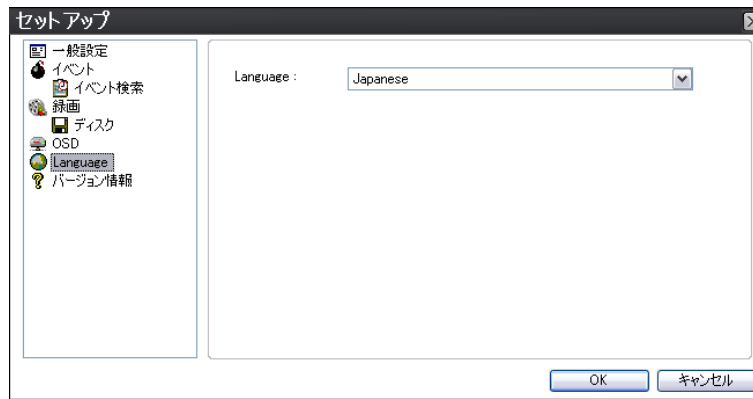
イベント検索

- ログの検索 ： イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。
- ログの保存 ： 検索してログがリストで表示されている状態で「保存」ボタンをクリックすると、ログリストをTXT形式で保存することができます。

録画

- 録画条件 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、常時録画を行うか、イベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。
  「自動録画」にチェックを入れると、「録画ON」ボタンをクリックしなくても、UMSマルチクライアントの起動時から自動的に録画を開始します。
- イベント ： 「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始するイベント条件を設定します。イベント条件は、モーションかアラーム、あるいは両方選択可能です。
  設定したイベント発生時、「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
- チャンネル ： 「録画ON」ボタンをクリックした時、パソコンのハードディスクにライブ映像を保存する接続先やチャンネルを設定します。

ディスク

- ディスク容量 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、データを保存するパソコンのドライブや、データサイズの上限容量を指定します。
- ディスク情報 ： UMSマルチクライアントがインストールされているパソコンのハードディスクの情報を表示します。
- 上書き ： パソコンのディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか、録画を中止するかを選択します。

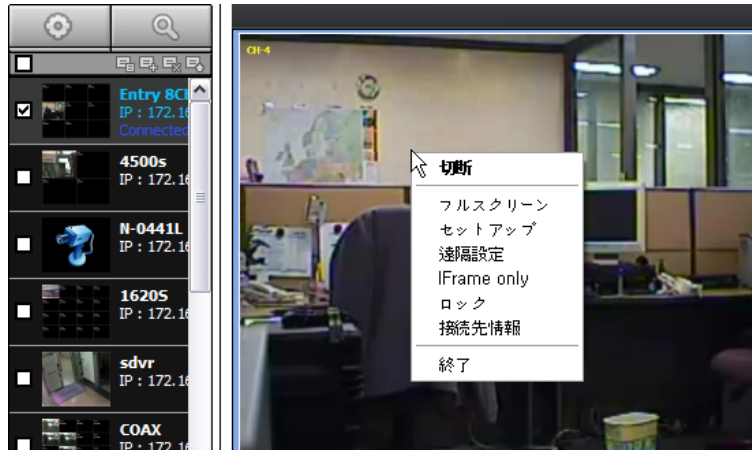
ディスプレイ

- 接続先 ： OSD表示を設定する接続先を選択します。
- 情報 ： 画像表示部の下部に、フレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を表示するか、日時情報を表示するかを選択します。
- イベント ： DVRで発生したイベントの中で、UMSクライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択できます。
- 第2モニター映像補正 ： 複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語

- UMSクライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了し、再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報

- 使用中のUMSクライアントのバージョンが確認できます。

7.4.5. ポップアップメニュー

ライブ画面で、画像の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

① ポップアップメニューから「接続」をクリックすると、接続画面が表示されます。

② 「接続先選択」から、16ヶ所の中でどのフレームに接続先を表示させるかを選択します。

③ 選択したフレームの中に表示させる接続先を選択します。

- 接続先名 ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先の名前のリストが表示されます。
- 接続先アドレス ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先のアドレスのリストが表示されます。
- ポート番号 ： 選択した接続先のポート番号を入力します。
- ID ： 接続するユーザータイプを入力します。(admin、user1、user2、user3)
- パスワード ： 選択した接続先のパスワードを入力します。

④ 「OK」をクリックすると、選択した接続先の映像が選択した位置に表示されます。

⑤ 切断する時は、接続中の接続先の画像の上でマウスを右クリックし、ポップアップメニューから「切断」をクリックします。

フルスクリーン

ポップアップメニューから「フルスクリーン」をクリックすると、画像表示部だけがモニターいっぱいに表示されます。
フルスクリーンを解除したい場合は、ポップアップメニューから 「フルスクリーン」を再度クリックし、チェックをはずしてください。

セットアップ

操作パネルの　ボタンをクリックした場合と同様、セットアップ画面が表示されます。
設定方法は、「7.4.4. セットアップのしかた」をご参照ください。

遠隔設定

接続中のDVR本体の設定を遠隔で変更できます。

※　詳細は、「7.3.5. 遠隔設定」をご参照ください。

Iフレームのみ伝送

PCの仕様が低い場合、PCの性能が低下することを防ぐため、画面に表示するフレームをiフレームのみに制限します。

ロック

UMSマルチクライアントのすべての操作機能をロックします。

① ポップアップメニューから「ロック」をクリックすると、パスワード画面が表示されます。
② 文字や数字を利用した4～8桁のパスワードを入力します。
このパスワードは臨時のもので、「セットアップ」の「一般設定」で設定したパスワードとは関係ありません。
③ ポップアップメニュー以外、マウスの左ボタンのクリックでは、UMSマルチクライアントのどの機能も反応しなくなります。
④ ロックを解除する時は、ポップアップメニューから「ロック解除」をクリックし、ロック設定時に入力した臨時のパスワードを入力します。

接続先情報

画面表示部や、接続先リストに表示されている接続先の情報を表示します。

7.5. Webクライアントの使用

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

7.5.1. IEからの接続

① パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

② ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

入力例：アドレス(D) http://172.16.2.1

③ WebブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。

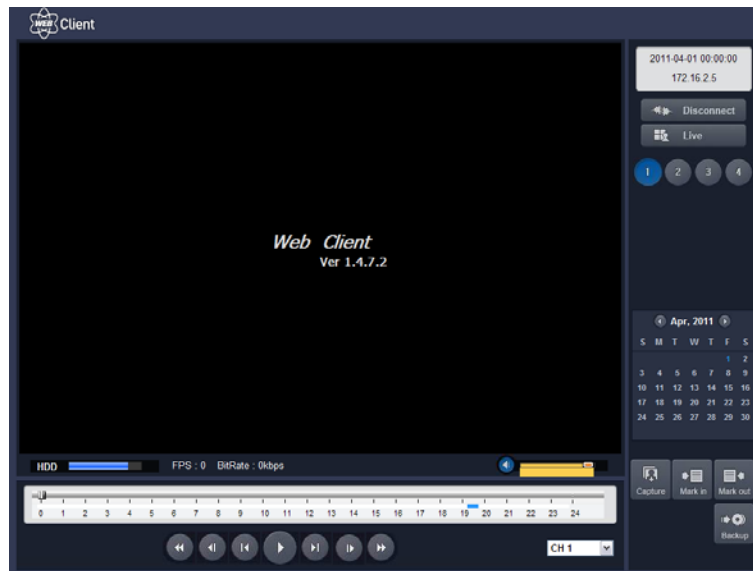
7.5.2. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	現在の日時を表示します。
Connect	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
Search	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
1 2 3 4	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。

PT	パン/チルト ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZカメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZカメラのツアー動作を行います。
	カメラOSD	カメラのOSDメニューをUMSの映像表示部に表示します。
Capture	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックすると、キャプチャーファイルの保存先の指定画面が表示されます。
Pause	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
Preset	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
Setup	セットアップ	遠隔設定画面を表示します。
HDD	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
FPS : 14 BitRate : 241.8 Kbps	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

※注意：ご使用のカメラの種類によっては、一部の機能が使えない場合があります。

7.5.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRのハードディスクに保存されているデータの再生映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
Connect	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
Live	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
1 2 3 4	チャンネル表示	表示するチャンネルを選択します。
Feb, 2010	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
Capture	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャーファイルの保存先の指定画面が表示されます。
Mark in	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
Mark out	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。

Backup	**バックアップ**	DVRのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
0 2 4 6 8	**タイムラインバー**	24時間を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック＆ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
/	**再生/一時停止**	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
/	**1フレームずつ再生**	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
/	**1分ずつ再生**	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
/	**早戻し/早送り**	再生中の映像を早戻し/早送りします。

7.6. モバイルでのライブ画面監視

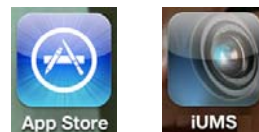
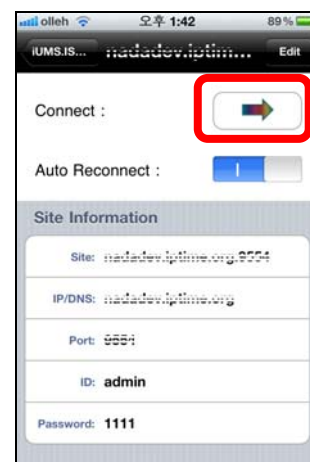
iPhone、Android対応のスマートフォンで、DVRのライブ画面を見ることができます。

7.6.1. iPhoneからの接続

① iPhoneのApp Storeから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

② iUMSをiPhoneから立ち上げます。

③ 接続先リスト画面の右上の＋を押して、接続先情報を登録します。

④ 接続先リストから接続先を選択し、➡を押すとライブ画面が見られます。

［接続先登録画面へ移動］

［接続先情報の登録］

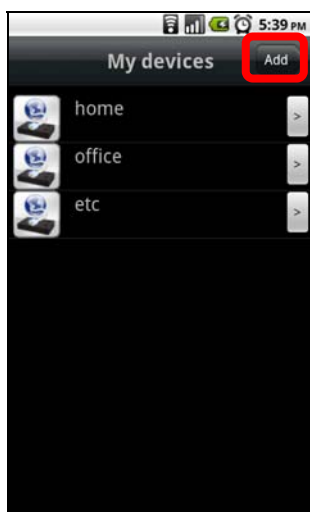
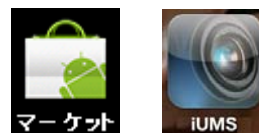
［接続先のライブ映像を表示］

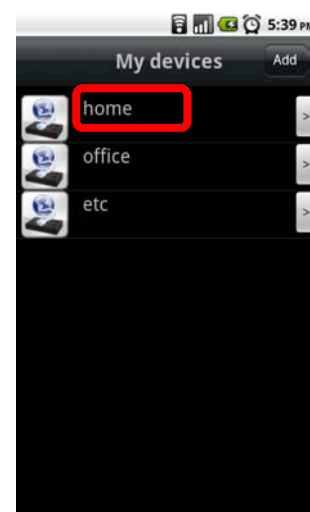
7.6.2. Androidからの接続

① AndroidのMarketから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

② iUMSをAndroidから立ち上げます。

③ 接続先リスト画面の右上のAddを押して、接続先情報を登録します。

④ 接続先リストから接続先名を押すとその接続先のライブ画面が見られます。

［接続先登録画面へ移動］

［接続先情報の登録］

［接続先のライブ映像を表示］

■録画時間目安表

EDR-0440M（500GB）									
解像度	録画画質	録画フレーム数(f/s)							
		30	25	20	15	10	7	5	1
D1 (704x480)	最高	4日	5日	6日	6日	7日	9日	10日	25日
	高	5日	6日	7日	8日	9日	11日	13日	32日
	中	7日	8日	10日	11日	13日	15日	17日	42日
	標準	8日	10日	12日	13日	15日	18日	20日	51日
	ネットワーク	10日	13日	15日	16日	19日	23日	26日	64日
Half D1 (704x240)	最高	8日	10日	12日	13日	15日	18日	20日	51日
	高	10日	13日	15日	16日	19日	23日	26日	64日
	中	14日	17日	20日	22日	26日	30日	34日	85日
	標準	17日	21日	24日	26日	31日	36日	41日	103日
	ネットワーク	21日	26日	30日	33日	39日	46日	52日	128日
CIF (352x240)	最高	17日	21日	24日	26日	31日	36日	41日	103日
	高	21日	26日	30日	33日	39日	46日	52日	128日
	中	29日	35日	40日	44日	52日	61日	69日	171日
	標準	35日	42日	48日	53日	62日	73日	83日	206日
	ネットワーク	43日	53日	60日	67日	78日	92日	104日	257日

EDR-0840M（1TB）									
解像度	録画画質	録画フレーム数(f/s)							
		30	25	20	15	10	7	5	1
D1 (704x480)	最高	―	―	―	6日	7日	9日	10日	26日
	高	―	―	―	8日	9日	11日	13日	32日
	中	―	―	―	11日	13日	15日	17日	43日
	標準	―	―	―	13日	15日	18日	21日	52日
	ネットワーク	―	―	―	17日	19日	23日	26日	65日
Half D1 (704x240)	最高	8日	10日	12日	13日	15日	18日	21日	52日
	高	11日	13日	15日	17日	19日	23日	26日	65日
	中	14日	18日	20日	22日	26日	31日	35日	87日
	標準	17日	21日	24日	27日	31日	37日	42日	104日
	ネットワーク	22日	27日	30日	34日	39日	46日	52日	130日
CIF (352x240)	最高	17日	21日	24日	27日	31日	37日	42日	104日
	高	22日	27日	30日	34日	39日	46日	52日	130日
	中	29日	36日	41日	45日	52日	62日	70日	174日
	標準	35日	43日	49日	54日	63日	74日	84日	209日
	ネットワーク	44日	54日	61日	68日	79日	93日	105日	261日

EDR-1640M （1TB）									
解像度	録画画質	録画フレーム数(f/s)							
		30	25	20	15	10	7	5	1
D1 (704x480)	最高	ー	ー	ー	ー	ー	4日	5日	13日
	高	ー	ー	ー	ー	ー	5日	6日	16日
	中	ー	ー	ー	ー	ー	7日	8日	21日
	標準	ー	ー	ー	ー	ー	9日	10日	26日
	ネットワーク	ー	ー	ー	ー	ー	11日	13日	32日
Half D1 (704x240)	最高	ー	ー	ー	6日	7日	9日	10日	26日
	高	ー	ー	ー	8日	9日	11日	13日	32日
	中	ー	ー	ー	11日	13日	15日	17日	43日
	標準	ー	ー	ー	13日	15日	18日	21日	52日
	ネットワーク	ー	ー	ー	17日	19日	23日	26日	65日
CIF (352x240)	最高	8日	10日	12日	13日	15日	18日	21日	52日
	高	11日	13日	15日	17日	19日	23日	26日	65日
	中	14日	18日	20日	22日	26日	31日	35日	87日
	標準	17日	21日	24日	27日	31日	37日	42日	104日
	ネットワーク	22日	27日	30日	34日	39日	46日	52日	130日

※各チャンネルすべてに同時に同一の映像を入力した時のデータです。
※録画モードは「常時録画」で、音声入力は「OFF」です。
※被写体の変化により録画時間は変化しますので目安としてください。

故障かな？と思われたとき

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
操作ボタンを押しても動作しない	設定画面表示中	設定を終了する
記録できない	記録領域が一杯になっている	記録領域のデータを削除する
	上書き記録を「OFF」に設定している	メニューの上書き記録の設定で 「ON」に設定する
スケジュール録画ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	スケジュール設定が正しくない	スケジュール設定を正しくやり直す
モーション録画または 外部センサー録画ができない	録画設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す
日付と時刻が表示しない	OSD表示をOFFにしている。	画面表示設定のOSD表示設定を正しく やり直す

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。

① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

保証と修理サービスについて

●**保証書について**
保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から1年

●**保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。**
保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

●**補修用性能部品について**
当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、
製造打ち切り後6年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

●**ご連絡していただきたい内容**
・ご住所・ご氏名・電話番号　・製品名・型名　・ご購入日(保証書をご覧ください)
・故障内容　・異常の状況(できるだけ詳しく)

●**保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。**
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

●**保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。**